京城日報

本紙定價 壹箇月金七十五錢 郵稅共 ... 廣告料金 五號活字一行金壹圓 ... 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 ...

十二月二日夕刊 (朝夕併せて八頁)

總督訓示

二日總督府に於て開催せし道長官會議に於て山縣政務總監の代讀せる總督訓示左の如し

近年要農産物の增殖と其の品質の向上とは價格の異常なる昂騰と相俟ちて農家經濟の進展を促し加ふるに本年作況の一般に良好なるは欣快に堪へざる所なり然れども朝鮮の農業は改良獎勵の餘地尚頗る多く特に今や歐洲戰亂將に終熄せむとし次いで經濟競爭に入らんとするに際し其の生産額の增加を要すること愈急なり從つて之が前途は甚だ多望にして而も寔に遼遠なりと謂はざるべからず

惟ふに收益の增加に伴ふ農家經濟の餘裕は之が利用を善導するにあらざれば延いて奢侈遊逸の風習を馴致し却つて他日疲弊の素因を作すの虞なしとせず故に須らく今日に於て相當誘掖の方法を講じ土地の獲得開墾灌漑の事業貯蓄金の設備耕牛農具肥料の購入其の他農業上必要なる資金に之を放下せしむるを以て將來に於ける生産の基礎を確實ならしめん事を期すべし

食糧農産物の增殖及び之が自給の方策を立つるは我が國の重要問題にして殊に米穀に於て然りとす即ち耕地の擴張土地利用の改善耕種法の改良等既定方針の徹底に一段の力を致し米穀は勿論其の他主要穀類の增加を圖り以て出來得る限り多量の食糧品を內外市場に供給するの途を講ぜん事を要す

棉花は國民必需の日用品にして同時に須要の軍需品たり殊に我國重要工業の一たる紡績業の原料なるが故に其の生産額を增加するを以て喫緊の要務と爲すは言を俟たず今や陸地棉第一期增殖の施設其の終りを告げ在來棉の獎勵と之が第二期計畫の實施期に入らんとす各位は克く此の趣旨を體し實行上遺漏なからむことを期すべし

蠶業の發達は極めて順調にして農家經濟を潤すこと頗る多く今や一般農民競うて之を飼育するに至れるは喜ぶべしと雖も動もすれば飼育量の增加を圖るに急にして所要桑葉量との均衡を顧慮せざる者あり爲めに蠶繭の不良を來し乾繭方法亦其の當を失し聲價を損すること鮮少ならず宜しく充分の注意を促す

畜産の改良增殖は其の成績見るべきものなきにあらずと雖も就中畜牛は單に農家勞力及び肥料供給の關係上より觀るも現在頭數を倍加するにあらざれば未だ充分の土地の生産力を發揮すること能はざるべし加ふるに近時內地に於ける耕牛及び食肉の缺乏年々甚だしきを加へ牛の移出益增加せんとす是を以て一層既定方針の徹底に意を用ひ以て速かに所期の目的を達成するに勉むると同時に豚鷄の改良增殖に關しても更に一段の考慮を加へざるべからず

農事の改良に關する事項は綱目多岐に亘るを以て之が獎勵上動もすれば矛盾扞格を生ずるの虞なしとせず此の如きは農民をして徒らに其の適從する所に惑はしめ農事改良の進捗を阻止すること大なり各位は部下技術員を督勵して事務の調和統一を圖り以て農政上遺算なからしめん事を勗むべし

各國公使の警告

前獨帝和蘭滯在の危險を忠告

プチーパリジャン紙の所報に依れば海牙駐在聯合各國公使は和蘭政府に對し前獨逸皇帝を同國內に滯在せしむるの危險なる事を忠告したりと(巴里電報)

正に應報を受くべし

責任回避を許さず

獨逸聯邦を分解し各自獨立の共和國となさんとする運動に對しウエストミンスターガゼット紙は陳べて曰く講和會議出獨逸の團體變更し又は國法を變化し墺國の如く四分五裂となるべき恐れあるもこれがため所要なる事業を曲ぐる事を許さず即ち獨逸は戰爭に對し責任を負ひその政體の如何に拘らず應報を受くべきものなりと(倫敦電報)

前獨帝引渡要求

フオン、ヒンツエ提督は前獨帝の引渡を受けん爲和蘭に在りと報ぜらる(倫敦電報)

ウ氏用務と滯在期

ウイルソン大統領渡佛に關する重要事項は總て確定せるが氏の滯在期間は六週間に亘らざる豫定なりと(紐育電報)

マ大統領 戰線維持命令

チエツク共和國大統領マサリック博士は露國にあるチエックスラブックに命令を發し露國に留まりて戰線を維持すべしと命ぜり(華盛頓電報)

段內閣組織要望

曹錕張作霖倪嗣冲氏等は徐總統に謁見し段祺瑞內閣の組織を要求せり(北京電報)

園侯興津行

講和全權委員西園寺侯は一日午前十時十分東京驛發興津に赴きたるが當分水口屋旅館に滯在すべしと(東京特電)

鐘紡今期益金

鐘紡株式會社今期利益金は千三百萬圓にて前期に比し三百萬圓の增收を示せるが配當は八割を行ふ可しと(東京特電)

大阪電燈新社長

缺員中なりし大阪電燈株式會社長は前文部次官田所美治氏に內定せり(東京特電)

東京便り

十一月廿九日 一寄書家

◇西園寺全權委員の評判は存外に良好にて、一人の立つて反對する者無きは國家の爲幸之に過ぎず候。たゞ侯が果して渡歐するや否やを疑はるゝは、感服すべき風評にあらず。

◇原內閣は、西園寺侯の起用に依り、二種の意義を加へ候。第一は侯の蹶起に依り人心を一新し政府の評判を新にしたる事に候。第二は、政府が侯の如き長老政客を起用し、講和會議の重大なるを明示したる以上、其の成果は帝國の前途に至大の利益と光榮とを齎すものならざるべからず、隨つて講和會議に對する政府の責任は極めて重大となれる次第に候。

◇以上の二大意義は、當地識者階級の夙に着目せる所にして、政府筋に於ても、講和使節の出來榮如何は、一般の興味を以て注視する所に有之候。原首相が夙に特使無用論を唱へ、次いで講和に對する國民の期待が過大に失すべからずと警告せるも、國民の期待は西園寺侯の起用に對して勢ひ大ならざる能はず、政府は國民の求むるに先ち自ら奮勵努力するを要し候。

◇吾人は勿論來るべき講和會議に於て、無より有を生じ、列國との協調を破りて帝國獨り私利を貪らん事を欲するものにあらず。然れども講和會議の成果をして成るべく精彩あり實あらしめん事は國民全體の願望にして、政府並に特使諸卿挺身の識力を望まざる能はざる所に候。吾人は我全權委員が比較的適任者を得たる丈け夫丈け講和の成果を重大視せんと欲す。

◇莫大の運動費を投じて、世間の人氣を煽揚したる加藤高明子は結局美事の落第を遂げられ候。政府の一部黨員中には加藤子の講和大使たるを疑はざるものあり、私かに隨行の運動に着手せる連中もありたりとの事に候。若し事實ならば、隨分滑稽且つお氣の毒の話に候。

◇評判あるものは評判に倒れ、人氣あるものは人氣に跌く。古來手製の評判程世間に嘲を招くもの無之候。加藤子の講和大使說の如き、果して子の眞價を增加したるか、將た其の野心が疑はしめたるかは、何人も疑ひ無き處なるべく候。…に通ぜず、…して主として失敗の醜態を…するは即ち之れが爲めに外ならず候。

◇政友會が西園寺侯の蹶起に依り、人氣の一新を企てたる、近來の手際たるに相違無きも、講和の成果が一般國民を滿足せしめ得るや否やは自から別問題に候。原首相の決意は、特使の派遣迄に纔かに搖したる如く、將來講和の解決問題に逢著して如何に美事の解決を下すべきや、識者は前途私かに懸念を懷きつゝあり。

◇憲政會の評判政策と政友會の人氣政策と互に多量の共通性を認識せざる能はず、而も吾人は二つながら感謝すべき誠實性を認めはず候。今日西園寺侯に對する人氣と好評とが他日狂瀾怒濤を湧發して往年のポーツマス事件を再發する事無きや否や、吾人は國家の爲め斷じて上記の不祥事無きを要望すると雖も、政府並に特使諸卿の勵精如何は、國民の心裡に至大の影響無きを得じ、豫め切言して諸卿の奮發を望む所以に候。

敍勳

十一月二十九日附

左の通り敍勳の御沙汰ありたり

敍勳三等授瑞寶章 咸鏡南道參與官 趙秉敎
全羅北道長官 李軫鎬
咸鏡南道長官 李圭完
黃海道長官 申應熙
休職黃海道長官 趙羲聞
敍勳四等授瑞寶章 總督府郡守 洪性郁
敍勳五等授瑞寶章 總督府警視 宮村駒三郎
敍勳六等授瑞寶章

預金爭奪防止

片山鮮銀理事談

東上中なりし片山鮮銀理事は一日夜歸任せりその談に曰く

今回の東上は期間も短かつたし、內部の打合せに多忙を極めたため多く外間と接觸する遑なく特にお話しする程の問題も有たない。唯各銀行間に於ける預金

▲爭奪防止の協調 は東京でも大阪でも講ぜられてゐた。預金爭奪の結果が高利預金の吸收となりその放資に自然面白からぬ事實を生ずるのは敢て珍らしからぬ事である。此の弊害は各銀行共夙に認めてゐるのであるが諸種の利害關係や色々な事情のため遲延し今日に及んでゐる、然るに財界は戰後の反動期を早晩迎へようとしてゐるし大藏當局も預金爭奪の惡弊を防止するやう相當方法を執つてゐるし各銀行も多年の弊害を十分に感得してゐる際だから何等かそこに爭奪防止に對する制裁か申し合せか

▲必然成立 する事と思ふ。然し問題は各銀行の德義心一つにあるので、制裁があるから止める外はない、制裁がなくては面白くないと云ふのでは面白くない。京阪銀行の協調が終れば自然內地大都市に及ぶであらうが、その曉京城の組合銀行も直ちに追隨する必要があるかどうかは問題だらう。若干の預金爭奪は京城でも行はれてゐるらしいけれど、京阪の如く激烈でなく又その弊害も甚い事はないやうだ、先づ姑く各地の狀勢を觀望して後徐ろに態度をきめて頂きたくないのではあるまいか、或は京城ではその必要を認めない位ではないか、休戰條約成立し講和來近き見込みなるも內地の財界は未だ著しく影響を受けてゐるやうに見えぬ、然し反動は徐々に來るものと稱して差支なく既に

▲その徵候 は商品の需給の上に漸く現はれ來つてゐる、日本銀行の利上は予の京城に着いた翌日之れを知つたが既に內地の財界に漸く行はれたやうに前途の反動來に備ふる一種の警戒若くは對策であるし、ヂリ〳〵昂騰する事は免れ難いであらうと思はれる

穀類檢查改正

米穀及び大豆檢查手數料實施規則中改正の件は三日附官報告示にて發布即日施行の事となるべし

農業技術官會同(第一日)

農業技術官會同第一日は豫定の如く二日午前十時より總督府第二會議室に於て小原農商工部長官統裁の下に開會直ちに日程に入り午前中は山縣政務總監の總督訓示代讀及び諮問事項の答申あり午後協議事項あり四時散會せり當日の出席者は山縣政務總監以下宇佐美、鈴木、小原の各長官及び總督府關係各課長技術官並に各道技師勸業模範場技師等なり

高等土調委員會

二日午前十時より總督府第一會議室に於て高等土地調査委員會を開き十二時散會せり

特別輸送終期

西伯利出征部隊一部の內地還送は朝鮮鐵道經由先月中旬來續行されつゝあるが茲一兩日中に終了する見込みなる由

▲列車休止繼續

特別輸送は一兩日中に終了するも滯貨輸送その他の關係上客月二十五日以來休止中の京義線、京元線、湖南線、南滿線列車の運轉休止は茲當分之れを繼續する由なり

北送力增大

貨物特別輸送一兩日中に終了するを以て客月來鮮鐵の阻まれたる貨物輸送力は右終了と同時に一時に著しく增加し來るべし殊に北方よりの輸送のため南方に仕向けられたる貨車の車輛數は多大なるものあり之等は北送の途各驛に停滯せるを以て京釜線の出穀地たる平澤烏山水原その他より京仁方面への仕向貨物並に釜山經由內地運帶仕向諸雜貨その他の貨物移入は順調に運ばるゝに至らんと

資金集散豫想

十二月中に於ける朝鮮資金の集散豫想に付鮮銀調查局調查を聞くに收納六百四十八萬六千餘圓散出十三萬一千餘圓にして內譯左の如し

▲收納

地稅及雜稅	六、三〇一、一八四圓
煙草稅外諸收入	一八五、〇〇〇
合計	六、四八六、一八四
一月以降累計	二〇、八二〇、六三〇

▲散出

府債償還	六〇、九四六圓
國債及府債利子	四八、〇二二
元山水原外一社配當	七、六二五
勸債殖銀利子仕拂	一四、九八七
計	一七九、六五〇
一月以降累計	四、五八三、五六〇

鮮銀券發行高

二日鮮銀券の發行高は九千八百八十萬圓を示し茲一兩日中に一億圓の關門を突破すべき狀勢なるが右發行增加は正貨の準備により限外發行をなし居らず但し近く過般總督府より許可を受けたる限外發行二千萬圓の範圍にて限外發行をなす事とならん

仁川新甫強硬

高値三十圓零七錢

米出廻り期に於ける期米の高値は不自然と稱せられつゝあるも尚ほ廻來の激增を見ずして正米の相場も踏唱へながら崩落せざると大阪の買氣旺盛は仁川期米を堅硬ならしめ二日本場の二月限新甫は二十九圓五十錢に寄り附き高値三十圓零七錢と十一月下旬の高値三十圓十二錢に肉迫したるも二十九圓八十四錢に落打止めしが中限も從つて強硬を唱へ寄附二十九圓八十二錢高値三十圓四十錢に上れり

京畿土地申告

松永京畿道長官は管內安城郡、龍仁郡、利川郡の一圓に於て土地臺帳に登錄せられたるものにして土地調查令に依り調查及び測量を爲さゞりし林野內に介在する林野以外の土地を所有する者に對し十一月二十九日附京畿道告示第五十四號を發したるが之れに據れば左記地域內に於て土地臺帳に登錄せられたるものにして土地調查令に依り調查及び測量を爲さゞりし林野以外の土地を所有する者は左記期間內に朝鮮林野調查令施行規則第二條同第十五條の規定に依り申告書を調製し土地所在の面長に之を提出すべき事と爲し申告書用紙は當該面長より之を交附すべし又朝鮮林野調查令施行規則第四條に規定する標杭は前項期間內に當該吏員の指示に從ひ之を建設すべき事と爲せり

地域	期間
安城郡一圓	自大正七年十一月八日 至同 十二月十五日
龍仁郡一圓	自右同 至右同
利川郡一圓	自右同 至右同

郵便所開設

十二月六日より江原道金化郡岐梧面昌道里に昌道郵便所を開設する旨二日總督府より告示せり

東郷中將告別

海軍將官會議々員に轉補せる前鎭海要港部司令官東郷中將は告別の爲め二日晉州に來り直ちに慶南船津に向ひ出發せり(晉州特電)

町田少將檢閱

陸軍兵器廠長陸軍少將町田彥治氏は朝鮮各隊兵器檢閱の爲め二十日夜入京一日來龍山陸軍倉庫及び兵器支廠の檢閱を爲しつゝあり

小原長官快癒

久しく病氣引籠り中なりし小原農商工部長官は此程快癒し二日より登廳執務せり

堀川代議士動靜

西伯利亞出征軍慰問の歸途病氣に罹り長春にて療養中なりし國民黨代議士堀川美哉氏は一日夜入京二日牧山代議士の案內にて山縣政務總監を訪問し夫より市內を視察し夜發歸東すべし

○岐阜縣人會 一日夜京城ホテルに岐阜縣人會を開き統營漆工專務に就任せし山口精氏の送別を兼ね忘年會を催したり

○正誤 一日夕刊所載『海軍轉補』中八代六郎中將の前官佐世保鎭守府司令官とありしは軍事參議官の誤、中島資朋少將とあるは岡田三郎少將の誤、又『海軍進級』中山崎不二雄大主計の主計少監進級とあるは山崎位主計大監の主計總監進級の誤りあり孰れも玆に正誤す

人事消息

▲奧川錦造氏(代議士) 一日朝南大門發內地へ
▲對馬彌作氏(農商省技師) 二日朝入京巴城館へ
▲中山太郎氏(覆審法院長) 二日退京
▲長谷榮十郎氏(八幡製鐵所參事) 二日入京天眞樓へ
▲吉本貞一氏(三島憲兵分隊長) 二日入京せり
▲矢鍋永三郎氏(總督府關稅課長) 先月上旬流行性感冒に罹り肺炎を併發し自宅に於て靜養中のところ此程全快したるを以て靜養旁々數日前出發別府溫泉に赴けり
▲新田留次郎氏(總督府鐵道局工務課長) 大田、金泉間改良工事狀況及び便鐵道保線狀況視察の爲め忠淸南北及び慶北管內へ出張を命ぜらる
▲鈴木哲郎氏(總督府鐵務課技師) 調查の爲め忠北沃川報恩永同郡管內へ出張を命ぜらる
▲アーサーヘイドレー氏(京城駐在英國總領事) 豫定の如く二日朝南大門驛發歸朝の途に就けり

釜山海底電線事歷(二)

神田釜山郵便局長談

成績が殘念なことには此權利上の成功は必ずしも實際とは相應しなかつたと云ふのは外でもない朝鮮政府は財政窮迫の爲京仁間及び京釜間に陸上電線を架設して釜山海底線に聯絡する豫約の計畫を實現することが出來ない隨つて折角敷設した釜山線は

▲唯僅に釜山發著の電報を取扱ふのみに止まり京城の政治界に對しては何等の効果を及ぼさない一通大枚六圓と云ふ高價の料金を拂ふて別使配達に附するか又は船便に依る無料の郵便配達に依るの外他に方法がなかつたといふ始末である我釜山線の現況斯の如くなるに拘らず明治十八年七月に至り朝鮮政府は清國の交渉を容れ京義線を設けて清國と直接通信を開始したので是疑ひなくも前記釜山海底線設置條款の違犯であるから我政府は嚴重なる抗議を提出し同年十二月遂に暫定條約を取結び

▲一年以內に京釜線を建設せしむることゝした處が是亦ナカナカ工事に着手せず荏苒日を送るのみであつたが再三嚴しき督促を重ねたる結果明治二十一年七月に至り漸く京釜線の開通を見るに至つた然るに線路の保守不完全なるが爲動もすれば風雨の爲不通となるのみならず暴徒の爲切斷せらるゝことも頻々であり殊に釜山に於ける朝鮮の電報司と日本の電信局との間には何等機械的連聯の方法を設けず電報は一々使送を以て兩局間を往來したのであるから常に輻輳延滯を免れなかつたのであるそこで此連聯方法に關し改善を迫つたのであるが言を左右に託して容易に之に應ぜず

▲此問題の爲に數年間を費したが結局要領を得るに至らなかつた此間明治二十四年四月に我政府は八萬五千弗を投じて呼子巖原間海底線を大北會社より買收し茲に初めて國內電信系の聯立を見るに至つたのは殊に喜ぶべきことである其後明治二十七八年日清戰役の結果日本は京仁及び京釜兩線路を軍用線として繼續使用するの權利を得たので憲兵を派して電線を保護することし朝鮮に於ける通信の安固を確保するに至つた後日露戰役開始せらるゝや京城以北の朝鮮電信線をも戰後還附を條件として全部之を我軍に收用し高戰線の擴張するに隨ひ

▲所在必要の箇所に電信線電話線を新設し又は線條を增加し然たる一大電線系を組成するに至つたさて時運の開展は遂に明治三十八年四月日韓兩國政府の間に韓國通信機關委託に關する取極書なるもの締結せられ朝鮮全土に於ける通信管理權を我政府の手に掌握するに至つたことは讀者諸君の今尚記憶に新なる所であらう

酒前茶後

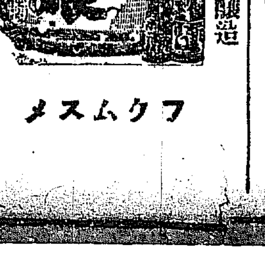
◆獨逸の政局は、各黨各派の鼎立にて、幾多の紛更を重ね、何の時か安定の域に達するやは、未だ測るべからざるものあり。殊に彼のリープクネヒト及ローザールクセンブルグの二人を首領とせる「スパルタクス黨」の跋扈には、何れも眉を潛めつゝあるが如し。彼等はライン地方の工業市を中心として勞働者其他下級民の間に、其勢力を扶植しつゝあり。彼等の行動が、獨逸將來に關し、重大なる關係を有するや明かにして、政府が特に極力彼等に對するも、決して故なしとせざる也。

◆特にリープクネヒトの如きは、「スパルタカス」なる新しき一種の同盟を組織して、盛んに革命的氣勢を煽りつゝあり。抑も此のスパルタカスなるの名は紀元前羅馬の劍士スパルタカスなる者の、名を取りしもの、如し。スパルタカスは元來スレシアの生にて、羅馬人の爲に捕虜となり、劍士に賣られたる奴隸也。

◆紀元前七十三年、彼は七十餘名の同類捕虜と共に脫走し、ヴエスヴイアス山の噴火口に隱れて、奴隸に對して自由を布告し、遂に十萬の徒黨を集め、二年間に亘りて、政府よりの討伐隊を悉く擊破し、ルーカンア及びプラッチアム一帶を、其手に收めたる一種の英雄也。

◆リープクネヒトが、特に此の名を取りしは、即ち彼の名を襲ひて起ちし闘騰も、彼の如く壓制武斷の桎梏を、脫せんことを以て、其主張となすが故なるべし。

鞄……は 京城本町壹丁目 高木旅行用具店 電話二五四番
□東京製トランク各種 □專賣柳織鞄一手販賣 □毛布及膝掛各種 □國旗及附屬品一切 □魔法瓶及中瓶取替

日本優等清酒

フクムスメ
攝津灘 花木本家釀造
特約販賣京城 島屋本店販賣部 電話九〇三番三三〇番

最新式 一分間寫眞機
どなたにでもたやすく暗室なしで即座に鮮明な寫眞が安價に撮れます 定價壹號九圓貳號七圓參號四圓八拾錢附屬品壹圓參拾錢送料參拾錢
最新實用 ローヤル印刷機
本器は用途廣汎にして早急の場合最も便利とす名刺、年賀狀、案內狀、送別會社、學校の諸用、各商店の廣告、傳票、領收證、通知書、狀袋の印刷及包裝紙、私製葉書其他印刷に關する文明の利器たり 定價壹號參圓五拾錢貳號參圓參號貳圓五拾錢附屬品一式五拾錢送料參拾錢
代理店希望者は郵券八錢封入要申込
東京四谷區荒木町廿七松平邸前 明治貿易商會

魔法瓶
御家庭に 御遠足に 御旅行に
これほど便利な物は御座いません どんなに熱くてもどんなに冷くても二十四時間は大丈夫保つと云ふ便利重寶なものです
◎内地は御通知次第御送付可申候

圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓二十錢 五合入金二圓…
水筒形 三合入金貳圓三十錢 四合入金貳圓六十錢 送料 鮮內二十四錢 鮮外五十五錢
京城府太平通り 合資會社京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

塗料船具油類金物
土工用器具及材料 雨覆天幕製作販賣 近江帆布會社製品朝鮮一手特約店 同免許船燈販賣所 製作販賣所 旗印石油合組販賣所
仁川本町一丁目 村谷本店 電話長五六番 振替京城五九番
支店 仁川府支那町 村谷石炭部 電話八一九 振替京城五九番
平安北道義州城內 義州印刷所 電話長二一 振替京城九八

見切反物デー
十二月一日より卅一日まで ㊟大景品差上舛
赤札附大賣出し
▲今回新築の向店階上階下に陳列仕候
こまや 龍山元町 電話四二八 植西呉服店

大正七年七月一日改正現行

◇獨逸語を追ひ出したチ國首都プラーグ市

◎チエツクは母國語を復興した

首都プラーグに獨逸字が無い

彼等は音樂を愛す。彼の婦人氣質を現した俗諺

世界戰爭の一大副產物としていよいよチエツク、スラヴアツク民族が獨立を認められマサリツク博士は將に大統領選任の式を擧げんとしてゐる高き身長、窪める眼、突出たる頰骨、暗色を帶びた皮膚、この

▲歐羅巴に　於ける特異の民族の意氣は今いかに軒昂たるものがあるか旅客が一歩首都プラーグに入つて先づ奇異の感に打たれるとは看板と道知るべも一切チエツク語ばかりで、それ迄獨逸語の耳目に馴れるたのだから非常にまごつくこのチエツク語も彼等の誇りで熱烈な國粹保存が能く今日

この宗教的に歷史的に詩的に文學的に趣味豐富な

▲母國語の　復興を完成した彼等は頗る音樂を愛して舞踏を嗜み例のポルカなどは彼等の舞踏から出たものだといふ嫁にゆくまでや歌はう舞はう嫁にいつたらもう謠ふまい、きもの縫ましよわが夫の、夫のお足袋も縫はう』こいふ俗謠の通りスラブ民族の婦人質氣も特筆すべきもので彼等は實に從順に

▲よく働く　打たれても罵られても默々としてその命に背かない若い時は非常に美しいが嫁にゆくとすつかり異た世話女房になつてしまふ都會地方ではチエツクもゲルマンも多く雜居してゐるから固有の風習も失はれてゐるが少し田舍に行くと百姓女は赤の上衣に短い袴を穿いて赤い靴下をつけてゐる大統領の式は何處で擧げられるか判らないがプラーグ市に

▲一大古城　があるからそこなどは最も適當であらう久しい間壓迫を蒙つてゐた彼等が新興共和國として世界に勃興した得意歡喜は實に想像に餘りがある

◎機關校航空隊卒業式

伏見宮御台臨

橫須賀海軍機關學校にては學生卒業證書授與式擧行に付三十日午前十時より畏き邊より差遣の伏見宮博恭王殿下の台臨を迎ふべく當日殿下には木岡御附武官田中御用係を隨へ午前八時二十分品川驛御發車同校に御成りあり優等學生の講演を聞食され向井侍從武官より恩賜の賞品銀時計を傳達し殿下には更に追濱なる海軍航空隊に成らせられ午後一時より同隊修業式に台臨同じく向井侍從武官は優等者に恩賜品を傳達せられたり

豫定である』二日の本紙朝刊に三日御擧式日の御日取を發表せらるゝよう記載しありしは來月中旬の誤りなり

◎講和使一行に宗教家

教育家を簡派

講和使節と同時に實業家中よりも數名の特派員あると既報の如くにして尚戰後思想上、社會上、教育上信仰上の各問題に就ては物質以外深く研究調査すべき要ありとて我宗教界教育界よりも數名の委員を簡派する由にて目下寄り〳〵協議中なりと

◎食糧局＝を設けよ

大日本醫師會で米問題を提出す

大日本醫師會第三次定時總會は廿九日大日本衞生會樓上に於て開會諸種の案件を議定せるが議案中福井縣醫師會の提出に係る米價問題並に内務省内に食糧局新設を建議するの件は頗る注目を惹きたり其言ふ所は我國に於ける人口の

◇增殖は　年々五十萬を算し往年四五十年間に殆ど倍加せし米穀の耕收到底之に伴なはず延いては米價の暴騰を來し彼の米騷動の如きを實現するに至れるを以て此際前記兩省内に食糧局を新設し人口增殖と米穀の收穫高とを調査し其不足分を外米輸入に仰ぎ

◇輸入稅　は之を全廢し一方公定買制を定め米食の弊を救ふため麥食を奬勵し又酒造の材料を米以外の穀に採るを避けしめ米不足の補給として裸麥及び甘藷の作付を奬勵する事等食糧に關する一切の事を管掌され度しとの主意なりと

◎李王職に電報が來た

御發表は來月

王世子殿下の御慶事に關し一日午前上京中の國分李王職次官より梨本宮家に對し正式に御結婚を申込みたる事は既報の通りなるが右につき李王職田中庶務課長は語つて曰く『國分次官が梨本宮家に參邸し滯りなく使命を全うされたことは當方にも

▼電報が來　て居る、宮家からは目下第十六師團長として伏見に御在勤中の守正王殿下の御許に直ちに御使を派せられたと云ふことであるが、電報によると宮家では三日御親族會議の上李王家に御挨拶になると云ふことであるから兩宮家からは勅許を奏請するのは何うしても

▼三日以後　であらう何時頃勅許になるかは固より吾々草莽の想像さへ出來ぬこころであるが愈々勅許になれば始めて兩宮家の間に御納采の御儀を行はれ御日取を御決定遊ばす順序となる、三日に御日取を御發表になると云ふのは多分何かの間違ひであらう尚

▼國分次官　は御納采の御儀を濟ました上一旦歸京される

◎渡佛前を興津の宿で

靜養の西侯

講和大使として渡佛すべき西園寺侯は近く出發すべきも暫時例年の通り興津町水口屋旅館に避寒に赴くべく十二月一日午後四時六分興津驛に着すべき旨同町淸見寺大工棟領乘松幸治方へ廿九日電報ありたれば水口屋にては侯が滯在すべき

◇別莊　の手入れに着手し庭の手入れ等に繁忙を極め居れり又淸見海岸に位置を選定して建築すべき別莊は前記乘松の手にて建築を急ぎ居れるが同人は各雜下を督勵して木材等の運搬に着手したり尚水口屋主人は曰く『當家へは十二月上旬に行くとの内命でありました侯爵は去る五年の冬から當家に

◇避寒　せられ本年で三回目であります何時も女中三名と一名の料理番を連れて參ります日常は頗る質素で朝夕は海岸を散歩せられますが晝は内外の書物を熱心に繙かれます滯在期間は每年三月下旬頃まででありますが今年は講和大使と云ふ重任を帶ばせられて居るので未定であります』（靜岡）

◎出征の將卒は慰問袋を

◇どんなに……◇喜んだか……

分配された其夜は何處でも慰問品を見せ合つて大噪ぎ

◇……贈られたチリ紙を早速書翰箋にして禮手紙◇

從軍記者　早川磐溪

二十五日始めて慰問袋を積んだ列車がチタに到着した、今日か明日かと待ち憧れて居たにも拘らず途上に故障百出して二箇月も要つて來たのであるから列車が着いたと言ふ報知あると司令部は勿論ペスチヤンカ、アンビーハーなどでは將卒共に雀躍せんばかりに喜んだ慰問袋の寄贈主は名古屋第一高等女學の松操會、名古屋市内の金瀧家、花柳界等でチタ方面に來たのは計りでも約一萬

一刻も早く手に渡して嬉ばしてやらう

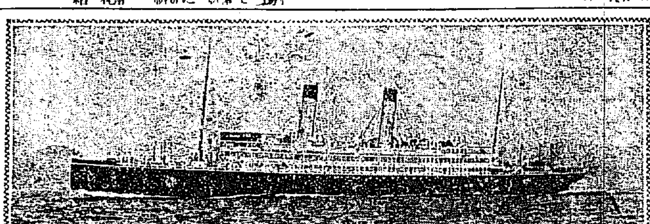
と云ふので荷が着くと早速開いて各所屬に分配することゝ將校も兵卒も贈り主は女か男かなどゝはしやぎながら抽籤で一袋、一袋受取る、慰問袋は申し合せたやうに手拭で袋を作り中身はチリ紙、齒磨き、揚子、繪はがき、キャラメル等が重で中には『兄上様參る』などと云ふ懷かしい手紙があつたり、堅豆に昆布に栗を入れて『武運長久を祈る』などと云ふ紙片も出て來た、中にも熱狂的に歡迎されたのは花柳界の慰問袋で贈り主の寫眞や繪はがきは逸早く壁に掲げられ

何を差置いても禮狀を出す

など其夜は何處へ行つても贈り主の詮議や慰問品の見せ合ひで大騷ぎをした、西伯利に於て如何に物資に窮して居るかは屢紹介したが兵卒の多くは贈られたチリ紙を早速書翰箋に造わて故郷に手紙を送つた程である、以て如何に慰問袋が出征卒の困苦を慰めに足るかゞ察せられるであらう。因に近頃の輸送狀態は支離滅裂で大切な追送品の貨物が途中で紛失したり、食糧品が行方不明になつたりするので非常に困つて居る、併し之等は率領者がちやんと附いて居るにも拘らず何時の間にかシチやられるのだから堪らぬ

郵便物も近頃は著いたり著かな

かつたり、記者の如きは十月末日頃京城出の手紙を十一月十九日に漸く受け取つたり、の新聞を一度に受け取つたり、夫れもが途中にひつかゝつて居たり却々届かなかつたりするので閉口してゐる、斯る狀態が何時まで續くか、軍隊輸送が終つたならばこれ計り賴みにして居りながら軍隊輸送の終つた今日になると尚更物騷な狀態になり、食糧品の如きも米が不足するので一食は乾麵にしてはなどゝいふ議が持上つてゐるさうである



◎光榮の船天洋丸

◇浮べる宮殿◇

◇講和委員の乘船天洋丸

日本最大の汽船の一つ＝講和委員牧野男一行の乘船たる光榮を擔へる天洋丸は東洋汽船會社の姉妹船春洋丸と共に『浮かべる宮殿』と稱せらる丈あつて桑港航路中にて新式客船の定評あり

◇總噸數　一萬三千五百噸、全長五百七十一呎幅六十三呎餘にて一時間廿一海里の速力あり船客は一等二百六十八人二等七十八人三等七百人を收容し得べく船室は總て一特色を備へ談話室圖書室喫烟室食堂悉く

◇善美を　盡し各種の運動娛樂機關も亦十二分に設備され居れり特使一行の爲には勿論一等船室中特に區畫し新に特別の設備を加へらるる筈なりと尚、船の船長は橋本長八郎機關長江藤碩事務長は什川長和氏なり

◎鉛筆の心に竹を使ふ

輸出粗惡品取締規則公布!!!

我鉛筆の輸出額は大正三年僅に五萬圓に過ぎなかつたが戰後非常な勢ひを以て增加し大正六年に於いては實に二百萬圓を算するに至つた、然るに、曾有の盛況につけこんで所謂粗製濫造の弊を生じ殆ど非道い粗惡品が現はれて來た例へば鉛筆の心の折れたものを幾個も繼ぎ合はして入れおるもの

鞘の木質　を充分乾燥せぬため曲つたもの、心が鞘に膠せぬもの、心が硬すぎるもの、護謨や其他の金具の不完全なもの甚だしきに至つては鉛筆の兩端にのみ心を入れ中は空虛にしてあるもの、色鉛筆の中に竹の心を入てあるものなどがある始末で之をその儘に放棄して置くと戰後需要の激減を見るの虞があるので農商務省では愈廿八日省令第四十八號を以て輸出鉛筆取締規則を公布し十四箇條の

▲檢査標準　を定め同業組合若くは同業組合聯合會の設置なき地方は地方長官の認定を受けなければ輸出することが出來ぬとし若し之に違反した者がある場合は百圓以下の罰金に處せらるゝことになつた、この規則の公布に依つて製品の改善と齊一とを期し既得の販路を將來に持續するとが出來るのであつて惡德鉛筆業者は自から擯斥さるゝに至るであらう

◎廣業畫伯辭職す

◇病氣で勤まらぬ◇

兼て辭職の噂ありし寺崎廣業畫伯は九月下旬辭表呈出中の所廿九日附を以て東京美術學校教授の職を免ぜられたり右に就き正木美術學校長は語りて曰く『辭職の理由とする所は近頃大分身體の健康を害してるので自然職務の方も完全に勤められず尤も癒る見込もあれば好いが何時癒るとも判らないので萬已むを得ず辭表を提出したものらしい從つて文展審査員の方も年期は一年と決定して居る事であれば委員の任命なき限りは自然消滅となる譯である』

◎河内艦殘骸引揚進捗

殘存死體尚不明

德山灣沖にて爆沈せし河内の殘骸引揚工事は着々進捗し昨今にては内部の器械類を引揚げつゝあるが尚殘留し居る筈の百八名の死體は一名も發見されずと（下關）

◎繭屋殺し公判

來る五日開廷に決す

繭商殺し犯人部野川鎔雄及び同人の情婦藝妓忠信事今津りようの公判は愈々本月五日午前九時半より京城地方法院大法廷に於て開廷の筈なるが當日は傍聽券所持者百名に限り入廷傍聽を許さるべし

◎大阪の勞働者保護案

決定次第率先して實行

大阪府では全國に率先して勞働者保護方法を講じ模範を示さうと二十九日午前十時から市内及び接續町村の警察署長十四名を召致して（一）貯金の奬勵（二）資本家と勞働者の利益分配（三）紹介所の增設（四）外國移民の勸誘（五）郷里に歸還せしむる事の五項に就て種々意見を徵したが決定次第即時實行する方針であるとの事である（大阪）

◎朝鮮新聞筆禍

朝鮮新聞第六千二百四十七號（十二月二日）附は治安妨害の廉により發賣頒布を禁止し且つ二日發行停止を命ぜられたり

◎敷島一個四十錢

奧地にゐる娘子軍が數千人

最近浦鹽より歸京せる京城商業會議所議員高木德彌氏は語る浦鹽から沿線一帶にかけて甚だ欶く物資が缺乏して居る中にも莨の缺乏と來たらお話にならぬ程で木や草の葉を刻んで吸つて居た處もあつたが出征軍人に對しては當地から評價よりも安價に三千個の莨を供給したので何れも

▼潤澤に　行渡つて居る在留日本人で若軍人が吸つて居る莨を見付けると幾等でもいゝから買つて吳れろと恰ど引張凧だが爲に敷島一個が四十錢位で買取られて居る位だ又近來鐵道の方も餘程秩序がついて來たと共に日本品が續々入込んで居るのは頗る心强いが彼地に永年在留して居る日本人は非常に知識が遲れて物品なども二十年前に流行したものを使用して居るのは心細いそれから驚くのは娘子軍の活動で西伯利の果てまでも水草を追うて入込む娘子軍は今や數千に達して居る

◎暴動發生地署長譴責さる

富山縣中新川郡上市分署長警部林佐太郎は去る九月廿五日同町細民婦女子が米商を襲ひ縣下に於る第二回の米騷動を惹起せるは職務を怠りたるに因るものなりとし二十九日井上知事より譴責の懲戒處分を受けたり（富山）

◎俘虜の感冒

德島縣板東俘虜收容所へ流行性感冒襲來し千名中三百名之に罹りたるも症者續々治癒し目下廿六名の重患者入院中なり（德島）

◎入營兵と見送人二百名

川中に墜落

德島縣名東郡國府村にては德島步兵第六十二聯隊に入營すべき十九名の壯丁及び見送り村民約四百名、一日午前六時同村出發したるが途中勝浦川にさしかかりたる際橋梁俄然墜落し二百餘名急流に陷りたるが何れも辛じて兩岸に這上り幸に溺死者は無かりしも數名の負傷者を生じたり（德島特電）

◎春場所の元氣者

筆頭は常ノ花

三横綱の討死

御祝儀も目出たく濟む、小屋掛にも既に着手した、そろ〳〵春場所込みも大に緊張して來た然も東西を通じて病氣力士甚だ少く目下の所じ伊勢ノ濱、靑瀨川の外は總出といふ有樣なれば先づ以て協會萬歲である

◇栃木山　は益、堅實に成熟して體量も三十貫に垂んとして角力振も一層堅固となり立合に猛烈に突張て出る新手を會得したは鬼に金棒となつた大錦は氣態以前の如くでないけれど角力振は可もなく不可もなく常ノ花は益々

◇英氣加　はつて攻擊の猛烈物凄く栃木山を除いては彼に必勝を期する者なく今度は關脇に昇進する事に確定した源氏山は病氣全快して驚くばかりに元氣回復し常ノ花とは常に互角の勝負を取つて居る、福柳兩國も常ノ花源氏山に亞ぐ元氣、千葉ヶ崎は

◇體量も　大いに加はり栃木山に對する作戰の研究に苦心して居る三杉磯の元氣は今更言ふ迄もなく常ノ花と東西好一對の若武者だ大潮は元氣非常に加はり名古屋で栃木山、大錦、九州山を撫斬にしたが再び病魔に冒され大いに悲觀されてゐたが漸く全快して大元氣となり栃木山も油斷が出來なくなつた樣子多

◇興行の　時栃木山が三杉磯に寄切られ、大錦は大潮に挫き落され、鳳が兩國の術にかゝつて三横綱が轡を列べて討死と云ふ珍らしい現象があつた湖潮は夏場所に栃木山を窮つて以來グッと地位を改め稽古に熱中し春場所は片ッ端から

◇投飛ば　してくれんずと凄い意氣込だ土州山は大に若返つて近年にない元氣で黑瀨川、紅葉川が如何に筋謝して見ても到底物にならぬ太鳴門、浦ノ濱、八甲山、大ノ里、大ノ高も元氣である（東京）

◎書畫骨董入札

◇本社代理部が札元◇

本社來る七八兩日當社樓上に於て某氏所藏の古書畫、器物、刀劍其他數十點の入札販賣を本社代理部が札元となり開催の筈なるが中には愛好者をして垂涎たらしむるもの多かるべしと▲書の部　伊藤公書額仕立二▲李鴻章同一▲藤田東湖書半切一册▲畫の部　揚月筆大黑天▲常信山水▲若冲雌雄鷄▲鸚園仙人物▲趙子昂筆八駿▲無落款美人激樂圖▲同戲狐▲玩堂蘭譜、安心田界風山水▲秋草抱一▲蛇子人物、佛畫其他數幅▲器物の部▲大銘床置▲鳳凰燭臺一對▲萬歷赤繪花瓶▲賈砂花瓶▲ヒスイ玉珊立▲鑄浮彫鼓貼▲竹林七賢彫刻衝立▲茶碗▲高麗燒七個燒鍋島供御歷燒等十數點▲刀劍の部▲關彌六兼元大津田近江守助直大▲銘光陽差▲無銘大▲正宗銘大其他數十點

◎頻りに殖える電燈と瓦斯

瓦斯は新設お斷り

石油の暴騰と薪炭石炭の暴騰拂底から一般家庭では此頃電燈瓦斯は無くてならないものとされて居る關係から每日京城電氣會社へは夥しい申し込みがある、電燈は一日平均百八十燈瓦斯は約三十口にも達するが職工と材料の拂底は到底之れ等の需要者に滿足を與へ難く電燈は每日百四十燈位しか設計出來んから每日四十燈位宛殘つて行つて今では之の未設の件數は夥しいものである相だ、瓦斯は高くて拂底のために會社では此頃新設を斷つて居る相だ、目下京龍間に於ける電燈の總數は八萬五千燈で之れを十燭に換算にすると十萬七千五百燈となり電動力は一日一萬一千キロワット時の供給をなし瓦斯は一日三十四五萬立方フヒートの供給を爲し居れりと

警察の窓から

◇宿屋料理屋飲食店營業者雇人及び家族健康診斷日割（十二月三日）▲和泉町、蓬萊町一部以上島崎病院▲明治町一丁目一部、谷川町、本平通二丁目一部以上中島病院▲南山町三丁目一部、本町一丁目一部以上高井病院▲林町、光熙町一丁目一部、同二丁目以上宇野病院（以上内地人營業者共）

仁川救濟會收支決算報告

◎收入

一金拾壹萬四千圓七拾參錢也　收入總額

內譯

一金參萬七千三百參拾圓也　寄附金總額

一金七萬五千六百參拾圓七拾參錢也　穀物賣上金

一金壹千參百四拾六圓〇四錢也　銀行預金利子雜收入古麻袋賣却代金

◎支出

一金九萬五千九百貳拾參圓貳拾錢也　支出總額

內譯

一金八萬四千參百五拾六圓七拾八錢也　穀物支拂代金

一金七千貳百拾八圓〇參錢也　穀物買賣運搬費其他補給金額及保險料

一金壹百五拾四圓　窮民救助金

一金壹百四拾八圓四拾八錢也　備品費

一金八拾四圓八拾四錢也　文具費

一金參百九拾七圓七拾貳錢也　印刷費

一金壹千四百九拾圓六拾七錢也　人夫仲仕賃

一金壹千貳拾壹圓八拾貳錢也　諸手當

一金參百七拾七圓也　新聞廣告費

一金六百七拾七圓〇六錢也　其他諸雜費

一差引殘額　金壹萬八千參百八拾參圓五拾七錢也

內

一金貳千圓也　仁川悲田院へ寄附金

一金壹萬六千參百八拾參圓五拾七錢也　銀行預金

右ノ通リニ候也

大正七年十一月

仁川救濟會長　楠野俊成

急告
本人ノ長子明煥浮浪者ニ誘ハレ金錢ヲ浪費セントシ内外地人ニ借金周施ヲ致候處本人ハ關係無之候間内外地人ハ之ニ欺サレ度候
井邑郡所拜面艾堂里（樓桑村）　父　曹俊表　敬白

支部長募集
大好評の新案油繪掛軸頒布に付支部長募集す收益多大也希望者ハ郵券貳錢添申込の事内容見本送る
東京九段坂上　東洋美術學會

米國製捕獸器　けものとるきかい　新荷着
說明書定價表往復ハガキにて御申込次第送呈仕候
京城市住吉町一丁目（公園前）　吉川米次郎商店

ラーヂ萬年筆（登錄）
男子用壹圓五拾錢より金十圓迄
婦人用金貳圓卅錢より金拾圓迄
到る處の文房具店にあり
賜宮内省御買上　賜各宮殿下御買上
東京市日本橋區馬喰町　文房具問屋學習院御用　酒井長次郎商店　電話浪花一七番　振替東京四九五三

瓶類　弊工場特製人蔘エキス瓶……に限る其他一般の御注文に可應候
京城古市町　電話二七四六　主　畑六一　畑兄弟硝子工場

舍弟隆昌儀流行性感冒に罹り大阪池田同生病院に於て加療中の處藥石効無く十一月三十日死去仕候此段生前辱知諸君に謹告候也
兄　蒲生隆宏

○不換紙幣で一と儲
銀價に及ぼすべき影響と特產界

……銀建を金建に更改せんとする議有力となる……

既報の如く横濱正金銀行大連支店にては支那商人等が奉天省其他の不換紙幣を以て大連に於て正金銀行發兌の銀券を購入し之れを上海其他の地方に送り現銀に換ゆるを常とし居れるが近來銀安に次ぎ休戰成立以來著しき低落を告げ十一月初旬に於て百五十圓臺を唱へたるものが一時百二十圓臺に下落し更に先安を見越して賣投げする者頗る多く大連銀市相場は上海天津方面の相場に比し六七圓の開きを見るに至り自然に放任せば大連市場より銀の流失盛んとなり正金銀行の兌換は忽ち空となるべきを以て之れが防止策なりと稱し同行爲替相場を引上げ銀の貸出を拒絕し且つ市場に於て盛んなる買煽りを爲したる爲め一時百二十圓臺に落ちたる銀價は忽ち百五十圓臺を突破するに至り且つ同行は一面に於て融通資金回收に努め居る結果大連特產物取引商人の叫び一方ならず正金支店が更に銀吸收策を繼續するに於ては特產物界は由々しき打擊を蒙るに至るべし即ち正金銀行は銀市場の權威として其の相場を高低左右するは一に同行の意の儘にして滿洲特產取引界が容易に斯の如き脅威に遭遇するは特產界の爲め不利なる爲にして此の弊を改め金建と爲さんとする議論各有識者間に勃興し金建採用の機運を促進せしむるに至り從來は金建に絕對的反對を唱へ居たる特產界の有力者連も今回は切實に銀建の不便不利を感得し此の機を逸せず金建制に改め現下の危機を脫すると同時に將來再び市場に斯の如き混亂不安の生ずるを防止せんとし特產同業取引人の兩組合及び油房聯合會の三團體は協議の上近く金建採用を其の筋に申請する筈なるが關東都督府にても此の絕好の機を逸せず特產取引所に金建を實施するに至るべし從來識者に由り百方金建を論ぜられながら目前の利益と投機的射倖心の爲め金建を肯せざりし向きも銀建の力により脅威せられ遂に自覺し金建促進運動を執るに至りたるは大連特產界の將來の爲め却つて慶すべき事なり（大連）

○船賃値上は各港均霑主義

舊臘に發表したる大阪商船會社の東海岸に於る運賃値上げは別に特種の事情あるべきも阪神釜山間の運賃百石二十圓の値上げは之を釜山に於ける船舶數の一策たると共に鮮內各港の均霑を主眼とせるものなりと觀るを得べし即ち從來阪神釜山間の運賃は僅に百三十圓にして之を他港の運賃と比較すれば甚だしき懸隔を生じ試みに之を仁川の阪神運賃二百二十五圓に比すれば實に九十五圓の差を生ずる狀態にあり之を以て今回の二十圓値上げは他港との比較上直ちに然るべきものたるは云ふ迄もなく更に直言せしむれば尚ほ幾分の値上げを至當とし以て甚だしき懸隔を縮少するの餘地あるを思はしむ斯の如くして會社は釜山中心主義に傾きたりし從來の運賃を改正し鮮內各港の船舶をして可成的運賃の均衡を得せしめんとする方策に出でたるものなりと觀測せらる從つて

◇仁川 群山或は其他の各港は釜山阪神間の運賃と各港運賃との間に格段の相違を除却せられただけ貨物運送上幾分の便宜を得るに至るべきは想像するに難からざる處なり殊に之等は曩に改正せられたる鐵道の長距離特定運賃改正と相俟つて各港灣に好影響を齎すべく茲に於て初めて眞に海陸輸送の圓滑を期し得べき歟、斯の如くなるを以て或ひは釜山に相應の影響あるべしと爲す者あれどそは所謂皮相の見解にして眞に取引關係の事情を探究すれば決して甚大の影響を與ふべきものに非ず若し鐵道の長距離特定運賃の撤廢に就て之が研究を企圖し或ひは汽船賃値上反對を試みるが如きは地方的偏見に過ぎざるものなりと思考せらるべし（某實業家談）

◇イルクックの寺
（一番立派なのと一番質素な寺）

イルクツクには殆ど七十二の寺院がある、一番巨きいのは市役所前の廣場にある寺（寫眞の二）でソレから停車場より市街に入つた最初の御寺（寫眞の一）は數多い寺の一で極く質素な建物であるから雪の眞中と共に面白いと思つた。（金谷從軍記者撮影）

○石炭の季節と
大連地方炭況

鮮滿洲各地共に石炭需用季に入りたるが大宗たる撫順炭坑にては本年夏季及初秋季に於て勞力の缺乏其他の原因に由り出炭量減少し加之軍隊軍需品等の輸送の爲め地方運炭澁滯し各地共石炭缺乏に手違ひを生じ且つは先高見越しを爲し居る模樣なるが之れに就き滿鐵當事者の語る處に由れば本年度撫順炭坑に於る出炭豫想額は二百八十萬噸なりしが夏期惡疫は例年勞力減少の傾向あるが殊に今年は南支地方銀高及一般不景氣なりし爲め出稼苦力少かりし等の影響を受け十月末に於て出炭額は豫想額よりも十五萬噸の減少を見たるが昨今農閑の時期となり近來苦力の集合も亦相當盛んとなりたるを以て年度內には豫想額の二百八十萬噸の出炭を見る事を得べく秦皇島より輸入せらるべき豫定の八十萬噸等を合すれば消費豫想額に達する見込なりと此の消費を大別すれば滿洲二百萬噸にして此の內滿鐵會社にて百萬噸を消費し關東州全部の需用約十九萬噸其他八十萬噸內外は滿洲各地に於て消費せられ朝鮮の消費額は五十萬噸にしてこれも運炭多少困難を感じたるも需用を缺くが如き事萬なかるべし輸出炭は約四十六萬噸にして此の內內地に二十六七萬噸其他は香港、マニラ、南洋諸島に輸出せら

○米豆未だし
◆平北地方に於ては◆

每年新義州市場に出廻るべき玄米は約二十萬圓の見當にして其の產地は京義沿線龍川、鐵山、定州及び義州郡の一部なるが本年は結實期に於て多少の霜害ありし爲め豐作と稱するを得ざる個所あるも概して平年作と大差なかるべき見込みなり然るに籾入れは例年と同樣左程遲れたるが如き事なきも新穀の出市は例年に比し非常に遲延し未だ捗々しき出廻りを見ず其の原因は種々あるべきも一般農家の懷中暖かなると流行性感冒の爲め收納に手違ひを生じ且つは先高見越しにて多少賣り惜しみもあるべしと同市場の玄米仕向地は主として釜山、仁川、鎭南浦にして精白米として移輸出せらる◆ものも又少からざるが如し次に同市場の大豆は約四十萬石と稱せられ其の產地は即ち鴨綠江の上流なるが昨今に到る迄殆んど新大豆の出廻りを見ず其の原因たる玄米と同一理由なるべし最も大豆は寒風吹き荒むにあらざれば乾燥の點に於て十分ならざるが爲め取引上不便なると鴨綠江の水面が全然氷結するにあらざれば其の運搬に困難なるが爲めなるべしと（新義州）

○特產の隱元豆
◆間島及び國境より產出◆

間島及び國境方面の隱元豆は今や出廻り期に入り會寧方面より鐵道便に依るもの雄基方面より汽船便に依るもの富寧、鏡城郡地方より牛車に依るもの等一日の清津出廻り高は平均二千袋（一千四百石）內外なるが之れが爲め稅關構內は勿論停車場構內市街道路傍まで麻袋山積の壯觀を呈し居れるが十一月二十六日現在に於ける滯貨數量は約四萬袋とせられあり然るに一方之れが輸出狀況を見るに白豆を積載すべき阪神汽船は大阪商船二隻互光商會一隻朝郵二隻の五隻に過ぎざるに之れとて各港の積荷もあれば積載量は充分ならず故に益々滯貨を見つつあるが臨時船の廻航せざる限り之れが一掃は困難なるべし（清津）

○野砲隊と鮮馬

羅南野砲隊に新設されたる朝鮮馬調查班にては過般來咸北道各府郡に亘りて朝鮮馬匹の調查に著手せるが今城津郡內に於ける調查成績を聞くに同郡內現在の馬匹は四百三十三頭にして中他出中のもの百五十八頭を除き檢查を受けたるものの二百六十五頭にしてその成績は（甲）輜重挽馬に適するもの十八頭（乙）中等馬匹にして見込みあるもの百七十九頭（丙）矮小貧弱にして

○慶北と養蠶

大正七年度に於ける慶尙北道管內の養蠶は飼育戶數六萬九千二百六十五戶蠶種掃立枚數八萬零六百四十五枚此の收繭額二萬二千二百九十五石にして蠶種一枚に對する收繭量は平均二斗七升六合の成績を示し而して之を前年に比すれば飼養戶數に於て二千七百三十戶を增加し又蠶種掃立枚數に於ては四千四百十三枚の增加にして其の結果は昨年度に比し收繭額實に約一割八分の增加を示せり（大邱）

○平北大豆の改善

平安北道の大豆は其の品質頗る優良なるものあるにも拘らず調製上の點に於て遺憾甚だしく殊に青黑白等の品種の混淆と夾雜物の混合甚だしき爲米豆檢查に合格するものは殆ど十分の六位に過ぎざる爲當局者に於ては非常に之を遺憾とし調製機の補助を附し品種混淆を絕對に防止するの目的を以て十分の監督を勵行したる結果數年前に比し品質頗る優秀となり昨年の如きは不合格大豆は殆ど百分の三四に過ぎざる事となりたる殊に其の傾向は鴨綠上流方面の山間地に著しく京義沿線の平野部にあつては猶且つ遺憾の點あり十分改良の餘地あるべしと某當業者は語れり（新義州）

○清津と金融組合

金融組合令改正の結果指定市街地にも之れを設置し得る事となりしが清津港にては中流以下の商工業者に對する金融機關缺如せるを以て之れを設置する事となり準備委員を設けて設立準備中なりしが內鮮人の加入者二百餘名六百口に達せるを以て二十日設立總會を開催せ

○國境の處女林（續）
◆直營流筏著材◆

明治四十年度から大正五年度に到る迄十箇年間に於て鴨綠江流域から直營流筏の貯木場に到著したる筏の總數は百四十七萬三千七百五尺〆で一年平均の著筏は十四萬七千三百七十一尺〆で此の間大正二年度には大旱魃の爲めに九萬三千三百尺〆を流下し又同三年には大洪水の爲めに纔に八萬九千二百尺〆を出したに過ぎなかつた、而して大正四年同五年度には

◆急に增加して◆

大正四年に二十六萬七千百餘尺〆同五年には二十三萬一千餘尺〆を出し、又豆滿江流域では明治四十一年より同四十三年まで、大正四五の二年即ち五箇年の作業で、九萬七千尺〆を流筏したのであつた要するに大正四五年の兩年度は鋭意業務の改善に努力したのと前年度に水害の關係上流下し得なかつた材木を流下したのにも基因するは勿論である次に

◆編筏工場以下◆

に於て直木買挪材又は安挪材を買收した年々の數量も又少からぬものがある、即ち前記十箇年間の統計は鴨綠江流域に於て六十六萬一千尺〆餘、一箇年の平均六萬六千百十九尺〆を示し又豆滿江流域に於ても合計二萬二千七百二十二尺〆で一箇年の平均は二千二百七十二尺〆である、斯くの如くして流下して來る木材は夫々貯木場に一時貯木するのであるが

◆鴨綠江流域に◆

にありては新義州の北方約一里の地點にある中の島の北下洞と新義州製材所構內に蓄積し又豆滿江流域に於ては、下流の土里に著筏したものを、更に輕鐵を利用して、西水羅に運搬して同地に貯蓄し來つたけれども、大正六年清會線の開通を見込んで會寧に貯木場を置く事となつて居る、此の流筏の關係は鴨綠江流域にあつては三區に區分されてある

◆第一區惠山鎭◆

及び十三道溝附近の新乫坡鎭より新兄山迄の間であつて、惠山鎭には、支廠があり、新乫坡鎭に派出所があり、帽兒山にも支廠がある、第二區は帽兒山、高山鎭間であつて、高山鎭には出張所がある、又第三區は高山鎭より北下洞間であつて第一區より第二區までに筏を下すものは其の區間を往復し第二區、第三區も自己の受け持ち區間を上下往復するのであるが最後の

◆結氷の期前に◆

なると第一區のもの第二區のもの筏夫は第三區迄を通す事となつて居る、第三區は日本人もあり又朝鮮人も使つてあるが、追々技術の熟練と同時に日本人を減らして、朝鮮人を增加せしむる方針である相な、是は取りも直さず、經費節約から來る自然の要求たらねばなるまい、現在では第一區より第二區までは主として日本人を使つてあるが、是は筏を下すに就て難所が多いからである相な

……るが之れ迄に於ける市街地の融合の購買なりと（清津）

○馬の檢疫

馬は馬鼻疽鼻腔の傳染病中最も惡性の獸疫なるに係らず其の經過緩慢なるを以て一般飼育主に於ては庇護の念少く全く放任するの傾向あり然るに近來各地に於て該疫の發生を見るは軍事上遺憾なるを以て咸北道廳にては今般郡部と協議し本年度に於て道內全部に亘り檢疫實施の事に決定したり（清津）

○新義州驛擴張

京義線の終點たる新義州驛は旅客乘降所と荷物取扱所は別々にして同地方人士の不便勘からざりしが同地の發展に連れ到底現狀を維持する能はざるの理由あるを以て大正八年度に於ては驛の構內を擴張し又は小荷物等の取扱を同驛構內に於て取扱ふに至るべしと云ふ（新義州）

○運賃割引

朝鮮郵便鐵道會社にては商人の利便を計り大邱、清津間直通運輸開始の所貨物中左記の品種を當分の間大邱驛發を以て普通運賃より五割引を以て扱ふことしたり（大邱）

砂糖、和酒、麥酒、味噌、醬油、麵類、麥粉、生果、煙草、織物類（絹物を除く）陶器、紡績類（鐵及び銅製品をも含む）

○牛の買入
一三千圓と騰貴
平北地方へ入り込みて

新義州附近なる枇峴、南市兩驛及び楊市に於ては過般來釜山方面より陸軍用のものを購入する爲めなりと稱し十數名の商人入り込み來り枇峴に於ては百餘頭、南市、楊市兩地に於ては千二百餘頭を買收し已に釜山に向つて輸送を了したるが是が爲めに新義州に於ける牛肉販賣營業者は大打擊を受け到底從前通りの値段にては算盤に合はざることゝなりたるを以て近く値上げを實行すべく目下協議中なり因に從來義州附近に於ける牛價は一頭に付き平均六七十圓位なりしが此の買收始まりて以來一頭に付き二三十圓方の騰貴を來せる譯なりと（新義州）

○清津と築港
◆急設の必要と其理由◆

清津港の築港問題は既に清會鐵道の敷設と日本海航路の開始せられたる今日船車連絡上最も急務として地方民の一日も早く之れが施設を希望して止まざる所なるが同港は八年度豫算に計上さるゝが如き說ありしも當局に於ては尚ほ之を延期したりしこの事にて地方人は大いに之れを遺憾とし是非九年度には豫算に編入するよう今回運動を開始せるが現在停車場と埠頭間には不完全なる輕鐵の外何等の設備なきを以て頗る不便不利を極め更に停車場より埠頭までの運賃は清會間運賃の半ば以上に達し之に船積込費用を加ふれば清會間運賃よりも多額を要するてふ有樣より清會線開通に依り頓に勃興の氣運に向ひし咸北奧地の產業も或は收支相償はず或は全然企業を斷念せざる能はず爲に巨額の工費を投じて敷設せり清會線も充分其機能を發揮する能はざるの狀態にある故に一日も早く船車連絡の施設を爲して以て平和克復後に於ける我經濟力の北進に備ふるは最も緊急事なるべし（清津）

○木浦の埠頭閑散

每年十一月下旬ともなれば木浦埠頭は棉花は勿論米穀の出廻りに雜沓し來りしが本年は前記の如く棉花の出廻り少きと同時に米穀の出廻り非常に少く每日漸く五十俵より二三百俵位の入船にて閑散を極め斯の如きは開港以來初めての事なるが現に木浦市に於て販賣せる白米の如きも新米三分に古米七分の有樣なり

○華菓獻上

大邱府外東村朝鮮扶植園理事加藤敏郞氏は頃日華菓（紅玉種）一箱宛を皇太子殿下に獻上したるに今回東宮大夫濱尾男爵より御嘉納あらせられたる旨慶北道廳を經て傳達ありたるが同時に李王世子殿下にも一籠を獻じたるが王世子よりは御菓子料として金一萬匹を送られたりと（大邱）

○羅南小學校落成式

羅南新築小學校舍は過般竣成せるを以て去る十一月二十三日新嘗祭の佳辰をトし上林道長官東旅團長等列席の上盛大なる落成式を舉行せるが同校舍は煉瓦造り一棟にして其坪數は百五十坪經費二萬二千圓を要せしが內外の設備完全し宏壯人目を奪ふものあり全鮮一二の小學校舍なるべしと（清津）

○沃溝の叺

全北沃溝郡廳に於て繩叺優約購買入札を執行したるが落札價格及び落札者左の如し

群山（二十二錢森田重興）臨陂（二十一錢鮮南會社）羅浦（二十二錢小熊松五郞）十八錢尹德鉉）等

而して十二月よりは農繁期も既に經過するを以て繩叺の產は益增大すべしといふ（群山）

○江景米穀組合落成

忠南江景米穀商組合事務所は新築江景郵便局向ふ角に新築工事準備中なりしが愈々此程新築落成を告げ十二月一日午後一時より新築事務所に於て江景及び附近官民有力者を招待し落成式を兼盛大なる祝宴を開催すべしと（群山）

○慶北保護牛規

慶尙北道にては大正七年慶尙北道令第九號保護牛規程に基く保護牛取扱手續を制定し道訓令として發布したり

○都ホテル上棟式

奉天昭德大街東拓支店横に建築中の都ホテルは愈今回落成し去月二十九日上棟式を舉行せり（奉天）

○醜業婦一掃
◇西伯利北滿地方より◇

西伯利北滿地方の名物の日本醜業婦は曩に外務省に於て西伯利北滿地方の娘子軍を撤退せしむる方針に依りて今回愈引揚げる事となり十一月末雄基發南航の咸鏡丸にて一組五名丈けは先づ引揚げ歸國したるが殘部の大部分も近便船で引揚げる筈であるが外務省の方針は現在の如く全然女郎屋式の店構へでは國辱となる故撤退を命じるので營業方針を變へて張り店を廢し料理屋式にすれば差支なきもの如きも之では支那人相手では營業にならぬから大部分は引揚げるの已むを得ざるに至つたのである（浦潮）

仁川米豆取引

二日の二月限

○新義州雜爼

演藝案內

本町二丁目　電話一○五○　壽館
▲萬國各地大好評の　英國軒ハレー一行
▲愈々十二月六日より花々敷開演

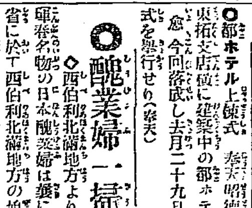
有樂館
正劇　死の鳥　全三卷
深山の乙女　全五卷
「うき世」　全二卷

黃金館
舊劇　お園六三　全二卷
第五　大秘密
大悲劇　女臘原　全四卷

京城明治町　電話二六○　浪花館
浪花節合同大會

電話八七三　大正館
家庭教師　全二卷
活劇　護神　全三卷
舊劇　朝顏日記　全三卷
新派悲劇　父の淚　全五卷

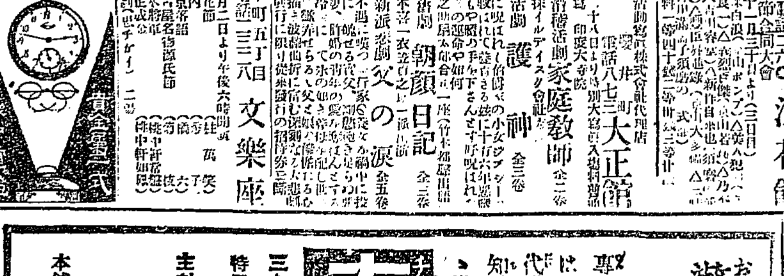
本町五丁目　電話三三八　文樂座
十二月二日より午後六時開演



京城本町二丁目　川合時計店　電話二九一八　振替京城二二九一

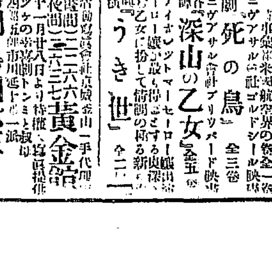
建築技術士招聘
中學程度の學校を卒業したるものにして多少實地に經驗を有する者初給月六十圓を給す希望者至急履歷書を
朝鮮黃海道兼二浦　建築土木請負業小川組　組長　小川大吉

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目　株式會社　朝鮮殖產銀行　頭取　三島太郎
支店　開城、清州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、全州、裡里、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、羅州、濟州、平壤、鎭南浦、安州、義州、宣川、海州、晋州、統營、馬山、密陽、清津、鏡城、城津、元山、咸興、北青
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

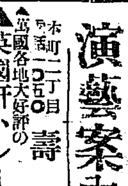


驚く可き效力ある目藥
專門學者の創製した「直治水」は學理上實驗上絕對優秀の現代唯一の理想的目藥であつて知識階級から專ら賞用せらる進步的良藥である。
直治水
三大特長　眼科最新高貴藥を配合す。タツタ一瓶にて効驗現はる。根本的に視力を強くす。
主効　トラホーム　爛み目　かすみ目　はやり目　やに目　血目　のぼせ目　うみ目　ほし目　其他眼病諸症に偉効あり。
新式点眼器付十錢、二十錢　全國各藥店にあり
本舖　大阪　東京　丹平商會藥房

京城旭町二丁目　瀨戶外科皮膚科醫院　（診察夜九時迄）　醫學士　瀨戶潔　電話四九八二番

宮內省御用達

サクラ正宗
兵庫縣灘魚崎　山邑太左衛門釀造
櫻正宗櫻魂發賣元　京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話長八四九番　振替貯金口座京城七五四番

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七

專賣特許

（名譽金牌）
男女ひみつ病
生殖器不完全、機能障害、包皮、神經衰弱、りん病、こしけ消から等を自宅で手輕に治す多數博士證明の器械療法說明書無代進呈
東京京橋木材木町　函館春日町　大阪北森町　京都烏丸通魚棚　別府梅園町　新協法研究所

商況

東京株式特電
(三日前場)

	寄付	引け
東株新	三〇、	
同新	三四、〇	
商船		
同新		
郵船新	三〇、〇	
同新		
鐘紡新	三、四〇	
東株		
寶田石油	三三、〇	
横濱取引		
新日本製糖		
北海道炭礦	三三、〇	

東京現株中値

東株日	二四〇、〇〇
同新	二一六、〇〇
朝鮮銀行	一五八、〇〇
同新	七三、五〇
南満鐵道	一五一、〇〇
第一新株	一五二、〇〇
第二新株	七七、五〇
南満製糖	二二、二〇
帝國製糖	二二、〇〇
満洲製糖	八一、〇〇
京城電氣	五八、〇〇
朝鮮瓦斯	二三、〇〇
郵船新	二〇四、〇〇
同新	二一一、〇〇
商船新	二〇二、〇〇
同新	一四八、〇〇
鐘紡新	二七一、〇〇
同新	二四〇、〇〇

東京期米特電
二日前場 當限寄付 三十七圓八十九錢
中限寄付 三十七圓丁度
先限寄付 三十六圓九十九錢

大阪期米特電
二日前場 先限寄付 三十六圓四十錢
二節 六十九錢
三節 六十錢

兵庫期米特電

下關期米特電
二日前場 先限寄付 三十五圓六十錢

雜報

	當限	中限	先限
寄付	……	……	三六、〇
高値	……	……	……
安値	……	……	……
止め	……	……	……

●正米漸落歩調
今日の地場正米市は日本種三十四圓十錢在來種二十九圓四十錢支那品二十八圓七十錢唱へにて日曜前日に比し約五六十丁方下落したり更に前日の高値十丁の暴落に當り期米新甫の後は中限の沸騰に刺戟され先限物又高く案外の強硬相場なりしに拘はらず當正米人氣の反對に下押し歩調を辿れるは畢竟前日の高過ぎ反動と觀るの外なく有力材料と認むべきものなき以上は頗る強硬なりし期米筋よりは尙ほ當地との懸隔出づべく一時小賣筋は引續き白米注文入込み來れる折柄なりしも今日迄出廻り居れる上の繼續も望み難きも今日迄居れる丈けに其反動は今後徐々現はるべし

●白米更に下押
内地よりの白米注文は未だ前約に渡し來り十分相當にあり且つ新期米市況引續き顚落せる如く此數日來大阪著の四十一圓見當に顚り日曜前日の如き府商大門驛渡しの三十圓五十錢内外にて調談せしものありしが原料市況は如斯の如くにて高值より約一圓七八十錢も反落せる事とて地場賣も愈々集上自然引下げ傾向にて本日は三十七圓唱へ眼先尙前にも下り含み強れて小賣値も一兩日中に引下ぐるならん

●鐵材の眼先
既約品の解禁に關する今回の外電に關して當業者には未だ何等の入電に接せざる模樣なるも聞く所に依れば既約品の全部は特別條件の附帶せる契約ありしも特許狀の下附を受くる事困難なりし爲め其後全部自然解約となり目下の所外電の傳ふるが如き確かなる取引契約條件に相當する既約品は恐らく絶無なるべく隨つて解禁せらるゝも輸入困難なりとすれば之を以て直ちに内地市場の此上暴落を見るが如き事は先づなかるべく人氣上相當の向自後の新契約品は特許に關し細慮に依れば其新特許を遂行期しく今日よりも少なくも●半年後なるべし但し之等は元より豫測に過ぎざれば決定的の判斷を下し難く何れにしても眼先の漸落は免れざるべしとの觀測最も多し

●銑鐵氣配軟弱
銑鐵は休戰の吹き初めし以來頗る軟調を呈し人氣日に不味に傾ける矢先休戰の一報に遭ふや相場一時に崩落して三四十圓安を示しらが各手持大手筋は追に持堪へ成行傍觀の姿態なり而して先約品は三百八九十圓乃至四百五六十圓掴みの高値に在ること今後更に一段の下落を免れんには販手は頗る苦しむ●生途は一に先約の履行せらるゝや否やに係るべく又各手持筋も昨今の相場は如何なる方針に出づるや注目すべき問題といふべし何れにしても一般鐵材に比較して一時六百圓見當と云ふ高騰の疲勞しかり丈に●反動も亦甚しかるべく先行軟化は免れざるならんか

●内地礦油市況
市況依然強硬ながら休戰以來前途の不安を懸念する向なきにあらざるが併し今後講和となるも歐洲産油地たるルーマニアガリシヤ等の荒廢は三年後のことなるべく又米國は大供給地なるも同國に於ては戰亂以來節約し居たる實需は平和と共に倍蓰すべき理由ある上に東洋方面へ多くの供給を見ることは之れあるまじく且つ内地油は著しく減產狀態にあることゝて供給狀態は依然緩和するの兆候なく市場は大體先行樂觀の向八分を占め居れる●燈火油は依然として少數ながら利鞘を見せつゝ保合を呈せるが入荷も多く逼迫にして前途尙ほ最盛期に向ひ居れば月替り以後は更に減切引締るならんと一般に豫想さる●揮發油は高値物少なきも低廉物は在荷豐富なれば軟調子なるに荷捌け捗々しからざるは價格は漸く低落の氣味を呈しつゝあり●輕油はプラントは共に後ぼに引換へ一寸落付商況なるにスピンドル油以下の在荷潤澤なるのみならず最近社外品は九錢稀の入荷に現はれ人氣不味なり

●製粉商狀軟弱
内地製粉市場は茲米麥を原材料として買方出動したるも小麥の作殺微弱なるにより市場の未解決の爲め中止問題は生産過剩を唱ふる小麥の作柄良好なる割に材料料、手足に對する實方大量の向きにも結局採算に悖るに至らず尙又賣方の賣崩しに結果的に落着せり先達て一服と見られ立つ所にしても又此上下押しも狭しと見ざる可く此淺小運米を辿るに至らずして今日は依然軟調にて天十一錢四圓三十五錢十二限四圓四十五錢より安値三十八錢以一四圓五十錢同二限四圓四十九錢等にて七萬三千袋の出來高を示したり

●鮭依然強硬
季節柄入荷頗る調にて賣行き又良好なる處に依り各地漁況の面白からざる年柄なれば相場は依然として堅調を續け居り當山方面よりの入荷は目下品質不良なるが爲め當業者側の氣受け好からざるにより昨今ゑとろふ物にて一匁十錢見當なり元山方面よりの入荷又鮮も海面より剩安なり

●分蜜糖小甘
新糖保税先物市況は廿八日高値二十七錢を進み翌廿九日は十五錢と氣不味く寄付き十錢方落し多少引戻したるも日一日と小甘の甘き市情を呈し居れり而して元來買氣旺盛なる本品は是れ全く十き商調なり、是せるか實に來年買入れの聲を高く呈して相場引返し此邊な値は買物遇み... 爾後相場は十ち既に最近の高値より百七八分なきにあらず...

●乾物類活況
乾物類は及干魚類は其後格別市場の變動なしと雖も買入時季と共に年末頃前の準備注文等々も現はれ時期物は比較的好調を呈し來り後つて總體に持ち合ひ氣配に一般堅硬の傾きにて限先多少の變動あるやも知れず

●赤糖
製糖は買氣旺盛期の勢ひ買ひ向ひ居るや小量一般に一斤三十四錢方の暴騰を示し…… 需給供給の不調等にて市場は從來の如く特殊事情として僅かに實に買入は未だ… 赤糖は中國製糖其他出物少なく一般に二つ八三十四錢方安氣配を示せるに過ぎず

下關相場
▲朝鮮米も此頃は甚だしく眼先きの見越しも以て兎角買氣の進まざる爲め昨今買ひ行き捗々しからず又市況活氣なく然れども仲々高値でなく手放さずして出廻り僅少なるに其他も其出廻りに安からぬにも拘はらず各米主の安く手放さざるに依り荷主は依然として硬氣を保ち米價は別段人氣旺は左の通りにて保合を呈し…
▲大豆は依然手堅く北陸深川入着したるは其十五叺のみにて物四百十三叺新義州產三百七十八叺宜川物五百五十叺產四百八十七叺永同產四十三叺の輸入ありしが既報の如き事情の下に各手持筋は堅く保合を保ち居れり
▲小豆は底堅く本品は北後別三百五十叺許りは二十八十錢に手合せ行はれたり
▲小豆は底堅し 本品は北後別に買進む相場は入荷あるも未だ十錢等に手合せ行はれたり
▲朝新一等白米 四十一圓
▲同 二等白米 四十圓
▲朝鮮大玉小豆 二十二圓八十錢
▲同 古一等白米 四十一圓五十錢
▲釜山新大豆 二十圓
▲深川新大豆(現口) 二十一圓九十錢
▲後館新大豆 二十一圓
▲宜川古大豆 十九圓八十錢
▲新義州大豆(現口) 十九圓八十錢

仁川米豆取引所仲買人 ㊀ 今村覺次郎
仁川海岸町三丁目 電話三二五・三八二番

各地商況
▲肥料の現況 魚肥は前中後期精も本場の鰊粕四百三十本鰹節粕二十本鰊粕十俵肥料十個等の廻著に過ぎざるのみならず今年は各地の肥料需要も輕からず相場は各手持節も高値にて手放さず尙ほ堅調を持續するを以て産地の情勢も此上の高値は必要を見ず買人筋も此上の買進みには躊躇し居る爲め取引は至つて閑散なり
▲木浦米況 三十日 大阪は内地出荷の安米需用勘少にして一般米三十錢、後場見込みより入電あり現物は一圓五十錢以上の賣物多く實需の不振を反映したるも品薄なるは久々にて一千俵の入荷ありたるも出廻り少なくして三十錢安の九圓二十錢にて取引されたり

京城正米市場
沿線地方は未だ引合ひ程度に至らざるも何筋よりの趨勢却ってあり例に頭米精米筋の手に依り強くなり爲め相場は配斷次に軟化し相場は既に最近の高値より百七八十丁方の暴落を示せり本日の出來高三十一圓最低二十八圓八十錢の手合せありしが期米新甫の發會高値に連れ多少荷主の居直りも見受けられ北外大豆は千百六十叺十六圓二十錢にて出し氣配良好を示し居れり

仁川正米
籾入津多きも精米筋より買進み にて六七十高の八錢七厘見當にて商談行はれたり
正米入津少く籾の引締りに連れ五六十錢高に地搗玄米三十圓八十錢神力三等合三十三圓九十錢見當を唱へたり

生魚市場
○京城日丸市場 各地共俄かに出立ちたる延荷なきも△紅小たい三〇△たい四五△ひらめ一二五△かしさわら三五△あなご一八△くろまぐろ二〇△いか一三△さより二〇△わ九十△めばる一六△さより二〇△あわび△ちうな中いか一六△さこし一六△△小たい八〇△ふぐ五〇△ちう八△たい二三〇△小たい四△小

仁川期米
二日前場(中限沸騰)
第一節 各地新甫の發會高なるも大阪高納會の機先に當地正米高値に中限は寄付不申二十九圓八十錢さ五錢高に寄付買物多く一錢さ一三十錢に五錢を暴騰せ
新甫二十九圓 五十錢三十丁 下鞘生 一錢の下鞘 ○三錢 更三十圓 騰

第四節 大阪市三十六圓四十錢 六十錢の常に二節の六十九錢三節七十錢は先に三十錢高に…
先八十一錢より買物多くし上り四十錢を押し伸し賣物…
八十錢を返し先二十九圓九十五錢を押し…
落し 八十錢 瓦

米穀 委託販賣 精米業
石拔 親搗 並 精選
京畿道振威郡平澤驛前
主任 河村宗七
電略(三)又ハキヨ

▲先限 二十九圓五十錢六十錢 …
三錢四錢八錢七錢六錢平均値三十九錢 …

市場雜觀
▲市況今朝天候晴天各地入荒末著なる大阪高納會の機先當地正米高にて買氣旺盛中限十九圓八十錢を五錢高に寄付⑦分其他より優勢なる買氣に消化され更に三十一圓四十錢と暴騰せしも目先利喰賣現はれ九十錢さ押し押目は硬派の買物にて二十六錢返し二十九圓五十錢と三十丁の上値にて下鞘に比し…
剩載され買物多く三十圓○六錢は一寸高過ぎたる觀があり

中限の暴騰
したるも高値は目先利喰と軟化の賣物現はれ二十九圓八十錢と崩れしも押目は相變らず強氣筋の買物にて下盛り八九十錢と返し◎四圓の北他より一錢方…結局四錢引きにて保合に放合せしが新市の三十圓○六錢

有力筋の買煽り 正米の採算上
押目には買ひ進み居り正米の高値に居る間は意外の暴落は望み難く觀側せらる

仁川米豆取引所 二日の二月限

	前場	
寄付	二十九圓五十錢	
高値	二十九圓八十錢	
安値	二十九圓七十錢	
引け	二十九圓七十錢	
出來高		

平均値段	
一節	二十九圓七十錢
二節	二十九圓八十錢
三節	二十九圓九十錢
四節	二十九圓八十錢
五節	二十九圓六十錢

堂島だより
▲全國の仕手の向ふに廻し孤立無援なりし惡師苦鬪み果れ人氣高見一派も時利あらず遂に投げ悲運に會し市場は復旧し人氣は如何に苦くも二日二百丁に至り候、人氣大場は一二百丁も奔騰致し候爲め各地の米の不足は依然漸く各地と頼みに寄せ當地に向ふ者多くも二圓方の下値にありし向後此の始まりは何れまた接しるやが強き底屈めの岐路に立ち相成居候、最近の當地正米は島前小康状態にも底堅く手を居れる事は依然頑強にして目下大阪米出廻り薄く氣勢を呈しありと相成候方面は地場需要に地方正米筋は大阪の貨物上に近き觀測に有之候さ申す仕向に到るも前時の處を越え此の上の高値には最近諸物の… 相當に下落…
連も趣からず現に發來高見一派の買叩きに買進み西山派よりも二度續けて猛烈に買進みて大阪より打入れ度に至りて候、されば双方とも能く買一變し買より出でゝ仕手に乏しく大幅の持合商狀に推移する外なく候。

白米標準値
三十七圓

毛谷村六助 廿六番角力
七十七席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

澤村才八は曲者が突出したる鎗の穗先を摑んでスツクと立上がりました『しまつた、未だ殺られては居ない、方々加勢を頼む、玉へ』と呼ばはりながら鎗を引かんとする奴を大力の才八、何をするかと力に任せて手元へ引付けました、ヨロ〱ッと鎗にてついてよろめいて來るを充分手元へ引寄せて、脇腹を一ツドンとばかりに當てましたから、忽ちウンと云つて其處へ氣絕をいたしてしまひました、然るに此時左右より大勢が拔きつれて斬つてかゝりました、一足後方へ飛び退つた才八、才『ヤイ、何をいたす、卑怯者つ、人違ひいたすな、我は細川家の臣澤村才八であるぞ』と大音に呼ばはりましたが、曲者は少しも答なく〇『エイ斬つてしまへ』と八九人が四方より斬込んで參りました。今才八も大切なる御用を勤むる折柄でございますから、兎角の問答に時を移しては何分相手は大勢の事でございますから、到底斬り伏せては居られぬと思ひまして、彼方此方に斬りまくりますから何分相手は大勢、瞬く間に一刀を引拔きました、處へ一人斬込んで參つた奴を、バッサリと拔き打ちに斬りました、今一人は肩先より乳の下へかけて斬下げました、是を見るより多勢一度に斬込んで來る、何八も必死の勇を現はし、左手右手の刀に一人鎗を扱いて才八目懸けて突きかゝる、心得たりと鎗の柄を切つて落し、足を掛けて陰囊を蹴り付けましたから、是もウーンと云つて其處へ仆れる、是は皆中西の嫌なくバッタ〱と斬倒しました、松本勘解由である、神妙にいたせ』と大音に呼ばはりつた、才八は少しも騷がず才『是れは澤村才八にござる』何に、澤村才八殿でござつたか、拙者は澤村才八にござる』と申した、然て是は如何なる次第でござるか、才『今度拙者主命によつて京都へ參つた歸途、成るだけ取急ぎ途に就くべしと

内藏太の兄弟を始め此に加擔の十名の者でございますが、四五人は斬仆し殘る奴等は背打を喰して其傍に茶店を出して居ります老爺が見て、倅は斬合が始まつた、庄屋に居ります松本勘解由の屋敷へ參つて頭田邊の町奉行を勤めになつて其屋の門をドン〱と破れる計り、表の門を叩き老『御注進申上げます』大變な事が出來ました、何うぞお開けなすつて下さいまし門番『何だ、騷々しいではないか』老『其處に騷動が出來ました』門番『何、騷動が出來たと』老『今松原で大勢のお武士がんだ、斬合つて居ります、中には鐵砲を射出す人もございます』門番は之

を聞くと、それは大變と早速之を玄關番へ申入れ、奉行へ告げましたから、それは捨置けぬと押つ取刀で玄關へ立出で勘『馬引け』と申すと早速小馬丁は其處へ馬を牽いて參りました、ヒラリ其の馬に打跨り、トッと馬を煽つて飛び出したが、今城下外れの松原へ來つて見ると、四邊は一面暗、如何に月の光りに透して見るに何か怪しげなる曲者が、血刀提げ死骸の上に腰打下して四邊に眼を配つて居る樣子、勘『コリヤ何奴である、城下を騷がすとは捨て置かぬ不埒至り仔細を申せ』手前は當所の町奉行

皮膚病 徽毒科
皮膚病 徽毒病 麻痺病 泌尿 生殖器 (機能障礙)
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元藤田) 電話一一七三番
佐藤醫院

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
長電話四一九番

ん。さ夜に入る眠はず、此處を通り行いたしたる處、最初理不盡にも鐵砲を射かけ、是々斯く〱の次第、依つて已むを得ず拔刀いたして多勢を相手に渡り合ひ、斯くの通りの始末、乃で其處に打仆れて居りまする者一々覆面を脫つて檢めまするに、番頭中西内藏太を始め皆家中の若侍でございました、才八は勘解由に對ひ才『如何に狼藉を防ぐ爲とは云へ、斯く大勢の人を殺害しましたる拙者、此度は到底助からぬ覺悟をいたしましたが、然し貴殿御出張さあれば幸ひ、大納言殿よりの御返書貴殿より大殿へお差出しを願ひまする』と懷中より文箱を取出して勘解由に渡しました。

◎新義州雜俎
▲山内判事赴任 新義州法院支廳より木浦支廳に轉任する判事山内公充氏は二十九日午前出發赴任の途に就くべしと
▲支店長京城行 朝鮮殖產銀行新義州支店長三好豐太郎氏は事務打合せの要件を帶び二十六日京城本店へ出張したり
▲古山院長歸新 新義州病院長古山佐十郎氏は夫人以下の家族同伴別府へ岳父の病氣看護の爲め旅行中の處二十七日歸任したる由
▲小島主任出張 平北道廳務主任小島節馬氏は國勢調査事務打合せの要件を帶び定州、雲山各郡へ出張を命ぜられ二十七日午後新義州經由出張せり
▲白鼠拐帶逃亡 新義州濱町一番地平林某方傭人岩田正三(二三)は知人の不幸に會葬すると稱し主人の衣類時計時價金百三十圓分を拐帶して逃亡行方不明となれり

十二月四日(水)
▲舊十一月二日 ▲四緑 ▲昭和たつみ(巽南) ▲ひらく

▲四緑▲ 際を事には携はるべからず 東南は凶し
▲五黄▲ たけし 何ごとなく思はしからざる日なりさ
▲六白▲ 不凡の日なり 事は吉
▲七赤▲ よくしくしきりに出づ 日なり但し南方は吉
▲八白▲ 九紫▲ 飲食に悅びあるも喜ばしかり喜び、とのあるなり 起業金借るも吉
▲一白▲ 婚姻、立求職、こちら好き日なり 爲樂なる日但し財貨けの
▲二黑▲ 物なり損ある日なり何ごとも成ふも吉
▲三碧▲ 物無く中悲なき日なり 事は吉 上弦の日にて目下より厭ひ宜し

MITSUWA PERFUMED HAIR OIL.

This is an ideal hair oil indispensable for men and women. It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is widely acknowledged as matchless for the hair, combined with the best perfumes. It comes in three kinds; violet, lily and rose. The oil promotes a healthy growth and lustre of hair and prevents dandruff. The user will find the dressing of hair a daily pleasure. Price 35Sen per bottle.

ミツワ椿油に馥郁たる芳香を配伍せる
◎ミツワ香油(みつわ・こうゆ)

本邦人の毛髪に適せる理想的のミツワ椿油に、品質優良なる芳香料を加味せる本品は、リリー、ヴアイオレツト、ローズの三種類があつて、皆從來の香油に優つたものである。毛髮の衞生に適し、榮養を良くし、美髮の目的に叶ひ、馥郁たる芳香は實に清爽の感を與ふる理想香油である。

定價 一瓶 金參拾五錢 内地以外は關稅運賃を加ふ
リリー ヴァイオレット ローズ

MITSUWA BRILLIANTINE.

Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling. Prices 30 Sen and 50 Sen.

ミツワ椿油を基礎こしたる光澤芳香油
◎ミツワブリリアンチン

本品はミツワ椿油を基礎こし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合したるもので、男子の頭髮を分くるこき又婦人東髮の際、本品を塗抹して用ふるこ、更に毛髮の榮養を良くし、而も其の色澤を漆黑艶美ならしめ、芳香馥郁で自から爽快の感を與ふる模範的美髮料である。

定價 大壜 金參拾錢 金五拾錢 内地以外は關稅運賃を加ふ

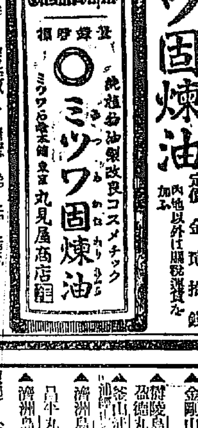
MITSUWA COSMÉTIQUE.

Mitsuwa Cosmetic is made by experts through a special process from carefully selected Mitsuwa Camellia Oil. It containsno grease nor injurious substances to thehair. Moreover an exquisite fragrance is blended in it. It possesses all the essentialqualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Price 20 Sen.

ミツワ椿油を基礎こしたる改良鬢附油
◎ミツワ固煉油(みつわ・こすめちっく)

本品は最良無比の毛髮油こして定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎こし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊新規の方法を以て之を硬化せしめ、温雅なる芳香料を加へたるものである、本品を在來のコスメチック或は鬢附油に代用するこ、毫も毛髮を汚さず、而折れ毛裂毛を生ずる憂ひ更になく毛髮の發育を助け榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶麗ならしめ、容色に一段の美を添ふることを得る實用的美髮料である。

定價 金貳拾錢 内地以外は關稅運賃を加ふ



MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.

Mitsuwa Tsubaki (Camellia) oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet. Price 25 Sen, 40 Sen and 70 Sen.

毛髮の衞生に適し其色澤を漆黑艶麗ならしめ食用に供すれば美味にしてオリーブ油に優る
◎ミツワ椿油(みつわ・つばきあぶら)

本品は普通の椿油こは全然其の製造法を異にし、新鮮なる椿の實を悉く皮膜を去りて冷壓法を以て、些少の熱をも加へずに搾取せるものなるが故に、之を頭髮に用ゆれば毛髮の發育を助け、雲脂の過剩を防ぎ、色澤を艶麗且つ漆黑ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂ひを除き、臭氣を發することなく、裂け毛折れ毛等を生ずることを去り、漆黑を帶ぶ本邦人の毛髮に最も能く適應する理想的完全の毛髮油なり。本品は冷壓法の特殊製法に依るが故に、之を食用に供すれば、普通の椿油の通有性なる苦味臭氣なく、而も美味にしてオリーブ油に優り、食用油こして最も純良比類なき絕品なり。されば擔者に用ゆれば風味輕く、胡麻、榧等の油の比に非ずして味極めて佳良頗る賞美すべき食用油なり。

定價 小壜…金貳拾五錢 中壜…五勺入…金四拾錢 大壜…一合入…金七拾錢 罐入…五合入…金三圓貳拾錢 内地以外は關稅運賃を加ふ

共同汽船出帆
廿日 波 共同汽船出帆 連直行(關東都督府命令航路)
▲共同丸 十二月四日後港十二月五日前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱並阿波共同汽船株式會社
大連にて青島行定期船接續荷客共通取扱
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
▲敦賀行 清津發、城津、元山、經由 平安丸 十二月一日 清津發
平壤丸 十二月九日 元山發
▲浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津 成鏡丸 十二月六日 釜山發
▲雄基行 關門を發し釜山、各港經由雄基 成鏡丸 十二月八日
×山陽丸 十二月十二日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 隆城丸 十二月一日 元山發
▲大阪行 濟州島經由 越後丸 十二月十八日 釜山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山經由 京畿丸 十二月四日 元山發
▲金剛山遊覽便 元山發海金剛 十二月五日
▲濟州島行 木浦發 昌平丸 十二月二日 釜山發
▲濟州島行 釜山發 十二月
▲釜山浦項線 三日 釜山發
▲鬱陵島行 浦項發及各地經由
▲多島海行 木浦發多島海各島經由
▲木浦麗水線 麗水ニテ接續
▲興天丸 十二月一日 木浦發
▲海州行 仁川發江華島海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 十二月三日 仁川發
▲大連行 青島經由 江原丸 十二月八日 仁川發
本社 京城南大門通(電話長一九五二) 其他各港地ニ荷客取扱店
釜山支店 元山出張所 木浦回漕部 仁川回漕部 京城松原運送店

辰光商會汽船出帆廣告
第三辰光丸 十二月四日 釜山出帆
第二辰光丸 十二月六日 元山出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
釜山 大池回漕部(電話一三一)

尼崎汽船出帆
群山下關大阪直行
秀吉丸 十二月 日 後四時出帆
南浦行 赤城丸 十二月 日 後四時出帆
群山、木浦、下ノ關、大阪行
大有丸 十二月 日 後四時出帆
君が代丸 十二月 日 後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
天津行 大連、酒田丸 十二月七日 朝出帆
大連、秦皇島行 高砂丸 十二月十五日正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部
都合ニ依リ早發スルコアルベシ

第五版
京城日報

[illegible]二千萬圓近くに及び其の[illegible]歲計[illegible]明年度に一千萬圓を追[illegible]算は約一千萬圓の削減を加へ[illegible]如し即ち二千二百萬圓位膨張するに[illegible]たれば當局大臣は閣議に於て大に[illegible]計上したる模樣にて其の他は電信[illegible]之が復活に努むべしと來[illegible]

京城に於ける小學教育

一

小學校に於いて、其の在學兒童の上級學校進入の便を圖らんがために、正科以外に豫習を課することの利害に就いて、目下京城教育界の話題に上り居れる模樣なるが、かゝる問題は内地に於いては既に決定せられたるものにして、利害得失に就いて何人も疑ひを挿むもののあることなし。若し一二の學校に於いて此種の豫習を爲し居るものありとせば、そは教育上當然の要求に基くものにあらずして、當該學校長若くは教員の、自校出身兒童が、一時の好成績を以て、上級學校に進入せりといふの、はかなき虛譽を博せんがため、內密に實行するの手段に過ぎざるなり。[illegible]吾人の[illegible]する所を以てするに、[illegible]の豫習を爲すの風習が全[illegible]がために兒童の[illegible]身を傷ふこと一方ならざりしの故を以て、時の文部當局は訓示を發して之を禁止め、爾來此の喜ぶべからざるの惡風は漸く終熄したりと聞ゆ。然るに京城教育界に於て今更の如く、かかる問題の提起せらるゝある、吾人の聊か心外に感ずる所なり。

二

啻に之のみならず、京城の小學校教育に於て寒心すべからざる事更に之あり。他にあらず、每日多量なる宿題を與へ、兒童をして殆ど負擔に堪へざらしむるの惡習あること是なり。兒童の知識を練磨するがために、休日越に相當の宿題を課するが如きは、全國に行はるゝ常例にして、必ずしも否認すべからざる所なるも、日々五十問乃至百問の宿題を課し、既に教室內に勞れたる頭腦を、更に家庭に於て過度に使用せしめ、夜を徹して宿題の解答に沒頭し、殆んど休養の餘暇を與へざる如きは、たとひ一時の成績を得ることするも、兒童の將來に對し決して好影響を與ふるものにあらず。元來よりいへば小學教育は、さまでに知育に重きを置くの必要なく、それよりも德育體育の方面に最も力を注ぎ善良にして健康なる國民を造るを主とすべき筈なり。然るにも拘らず、現に京城に於て見る如き、知育にのみ偏重し過度に兒童の腦力を使用せしむるに至りては、全く小學教育と專門教育とを取違へるものとせざるべからず。古人の言葉に『幼にして神童、長じて凡夫、老いて恐物と爲る』といへるあり。小學校に於いて如何に優等なる成績を得るとするも、進みて上級學校に入り、又は社會に出で、仕事をする場合に、既に疲憊せる頭腦が、殆ど働きを爲さゞるに至るは世に多くの實例を存す。教育の局に當るもの深く思を致さゞるべからざるなり。

三

吾人は屢京城の教員間に『內地より轉學する兒童は、概して不成績なり。殊に轉學早々に於いて著しく知力の劣れるを見る、轉學後半年乃至一年を閱するの間には、漸く他の在學兒童と[illegible]』と揚言するを聞けり。是は實にをかしきことなり。內地に於ける有數の都會よりも、京城に於ける教育が格段に進步しありとは、如何にしても信じ能はざる所なるが、事實に於て兒童の知力に差等あると間違ひなしとせば、其間に何か異なりたる教育方法の存するなかるべからず。即ち日々の宿題を課し、强制的に進步を圖るが如き、正しく其の特殊教育の一方法たりしなり。其の結果は遂に一種の畸形兒童を造りて顧みざるに至る。學校長若くは受持教員としては、一時兒童の成績優良なるに誇り得べしと雖ども、さりとては其の父兄たるもの、特に兒童其もの、迷惑や此上なし。

四

上級學校入學の豫習といひ、過度の宿題を課することいひ、いづれも當該校長若くは受持教員が誇るべからざる虛榮に驅らるゝの心理狀態を同うするものにして、教育の理論よりいふも、又實際の成績よりいふも、凡て否定すべき事柄に屬す。畢竟小學教育の如きは、兒童をして樂く愉快に、校門を出入せしむべき筈のものにして、斷じて苦痛を學ぶべきものにあらず。現在京城の小學教育の如き、極端にいへば『夫の人の子を伐ふ』ものならずばあらず。記して當局者の猛省を促す。

臺灣視察談（五）

芳賀博士講演

私は臺灣西部の各地を廻つて愈々彼地を離せんとする前二日間を蕃界の視察に費した、御承知の通り蕃人は全島の三分の二を占領して居るが、今日では殆ど全部歸順して皇化に浴して居る。さて總ての人類は曾て游牧の時代を有した、此時代には唯水草を逐うて彼方此方と移住したものだが其後一定の場所に樓家を作り土地を所有する樣になつて輕々しく轉徙することが出來なくなつた、殊に農業を本とする種族は土着せざるを得なくなつた、臺灣の蕃人が如何なる歷史を有するか知らぬが、兎に角農業を營んで居る。耕地に肥料を施すことは爲ないが、二三箇年毎に土地を換て作るのである、婦人は紡織を知つて居る、其手に成つたものを見ると實に精巧緻密なものである。要するに彼等の生活狀態を見ると未開の民とは云ふもの、決して人を殺すことしか知らぬ野蠻人ではない、子供を學校に入れて教育して見ても其能力は內地人に比較して大した差がない、[illegible]べきは彼等は古來可なり複雜なる政治機關を有せず、又文字を有して居なかつたに拘らず、深く人情を知り德義を重んじ義理を辨へて居ることである。私が此蕃界に入ると先づ第一に自分は何だか故鄉へでも歸つた樣な懷しさを感じた、人の心と云ふものは微妙なものであるから、此方が懷しく思へば彼等蕃人も亦私に對して誠に親切に迎へて呉れた。私が彼等の中の或家へ訪ねて行つた時少し許りの土產物を與へた所が、お禮にとて色々の品物を出すので私は決して斯樣なものなぞ要らない、是を貰つては蝦で鯛を釣る樣なものだ、夫では私は氣の毒でならぬ、と辭退しても是非にと云つて肯かぬので止むなく大半の品物を持つて歸つた、又いざ歸らうとすると、少時待つて下さい、米を少し差上ますと言つて米を搗出した、見ると女子が二人杵を持つて向き合つて恰も東の餅搗に似た態をしてトントコトンくと丁度朝鮮女の砧を叩くやうに面白く調子を取つて瞬く間に精白にして、是を持つて歸れと云つて私に呉れた。斯う云ふ工合で彼等は實に愛すべき民である。彼等は概ね高地に住んで居る、自然の人の性質に影響するは爭ふべからざる事實であつて、彼等は暖國の高地の下蜂巒鬱乎として蒼々たる壯大なる風物に圍繞せられて造化の靈妙を感じ不知不識の間に純樸にして武を尚ぶ民となつたもので、彼等は其祖先は新高山に降つたものと信じ、又宗教と云ふべきものは有たぬが祖先を崇拜し一種の御祓を以て祭祀の行爲とすることを知つて居る。又今日では內地人に對しては頗る好意を持つて居る、女子の中には內地人を非常に慕ふ傾向があると聞いた、是に反し臺灣人とは氷炭相容れぬ有樣で現今に於ても決して融和して居ることは云へぬが是は臺灣人の支那人式に狡猾な點を惡むものと思はれる。是等の事を考へると彼等蕃人は決して處分して仕舞はねばならぬ樣な種族ではない、又曾て討伐を行つたこともあるが其成績は何時も面白く無かつた、だから今日では當局も威嚇政策を廢して專ら彼等の日本に對する誤解を去るに努め、極めて良結果を擧げて居る。或る書物に依ると西班牙人が亞米利加に發展した頃土人を征服して奴隸とし從はぬ者は片つ端から殺した、亞米利加土人が西班牙人の刃に斃れた數は五十年間に四千萬以上であつた、ジャマイカ島では遂に亞米利加土人が根絕するに至つたと云ふことだが我國の方針は臺灣蕃人に對して斯る無慈殘虐を行ふものでなく是を遇するに據るべき所あるを知つて極力保護善導に努めて居るのである（終）

快傑 エルマーク

從軍記者　金谷眞

イルクツクの公園に遊んだ人は誰でもアレキサンデル三世の銅像を見るであらう、銅像の下の紅い大理石の三方にはまた一八二〇年時代の西伯利總督スペランスキーの塑像及びムラビヨーフ黑龍江伯の塑像がある、而してその背後には西伯利最初の征服者

▲エルマーク・・・の顏が見ゑる。エルマークは露西亞が此の全地球陸地の十三分の一を占むる大西伯利を奪つた最初の偉人として知られてゐるが今アンガラ河畔イルクツクの公園に立つて見ると一入の感慨に打たれざるを得ない▲エルマークはもと哥薩克の首領として第十六世紀の末葉頃から盛んにヴォルガ河附近を暴れ廻つてゐた、時の皇帝イワン四世は此の暴れ者を討つてヴォルガを追うたのでエルマークは遂にカマ河上流から今のウラル地方の豪族の家に身を投じた、此の時豪族の家は中央亞細亞から來た韃靼人庫程汗から

▲屢々脅かされて居たのでエルマークは盛んに歡迎されて遂に一五七八年九月チウリウオイ河を遡り西伯利に侵入することとなつた。今からざつと三百四十年許り以前のことである、快傑エルマークはこれより驅馬長驅して西伯利の首府イスケル及びシビール城（オビ河支流イルチシュ河とタボール河の合流點にして今のトボリスク附近）に入城した、此の時の新領は實にウラル以東に於て露人が勢力を確立した記念すべきもので兩歐羅巴全土の一倍半を有する大西伯利は遠く太平洋岸に至るまで露人の有に歸したのである

▲エルマーク・・・は此時自分の征服した新領土を皇帝イワン四世に獻じてヴォルガ河附近の罪を詫たのであつた、その後一五八四年（今から三百卅五年前）エルマークは再びイルチシュ河を遡つて西伯利遠征の途に上つた、途中連日の行軍に全軍綿の如く疲れ切つてゐるところへ突如韃靼軍の鐵騎が暗夜の驟風雨を衝いて突擊し來つた、エルマークは遂に奮戰して死んだ、併し其後のモスクワ政府は更に續々と遠征軍を送つて西伯利の新領土を確實に占領して了つた、エルマークの記念碑は

▲トボリスク市にもあるといふが今イルクツク市で見るのも感慨が深い、因に西伯利とは即ち蒙古語の森林といふ意より來たもので今でもイルチシュ河の流域に遺れるスイビールと稱する人種があるがその後中央亞細亞から來た韃靼人に征服され後また露人に占領されたものだといふ、而して露國が最初に西伯利との交渉を有つたのは第十一世紀の初葉ノブゴロド大公國がウラル以東の毛皮に富めるとを知つて人を派したのに起源するといふ

江西會館の一夜

北京にて　今關天彭

一夜、江西會館に於て開催されたる言樂社の演劇を見る。言樂社とは滿洲貴族溥侗氏を中心として組織されたる素人劇團にして、故袁世凱氏の第二公子克文氏も亦團員中の有力者なり。余が會館に到る時、劇は正に昭君出塞（劇名）を演じつゝあり。絕代の佳人王昭君に扮したるは朱杏卿といふ人にて、昭君が胡地と漢地との境界なる交流河に臨んで、漢地の名殘を惜むべく馬より下りて一曲の琵琶を彈ずるあたり、何とも云はん方なき巧妙なるシグサあり。詩想久しく枯渇したりし余も、これを見ては大來の詩韻油然として起らざるを得ず。次は長生殿傳奇（劇名）中の醉妃變にして、寒雲主人（袁克文氏）玄宗に、劉孟超君、楊貴妃に扮したり。寒雲主人の一擧一動宛として名優の如し。洪憲皇帝の子が玄宗皇帝を演ずる、眞に好個の活演劇なり。次は失街亭（劇名）にして、諸葛孔明が師を岐山に出して街亭に敗れし史實を演ずるものなるが、その最も好きを孔明が城門を押し開き、琴を彈じて司馬仲達を追返す所なりとす。孔明に扮したる紅豆館主（溥侗氏）が、現今劇界の巨頭たること好事者の夙に熟知する所、その歌、その聲、全く此夜の白眉たり。

遜清室の溥侗氏、洪憲帝の子袁克文氏が北京政界の活舞臺に見ずして、江西會館の勾欄上に見る。感慨已に深し。しかも此二人、歷史上の大英雄を演じて、風采といひ伎倆といひ、一種及び易からざるものあり。感慨殊に深からざるを得ず。

史と傳說（投書歡迎）

史上に現はれた怪談（一）

何處の歷史にも大亂や、國家の興亡盛衰に關する大事件の際や、偉人、英傑等の歷史には妖怪や變化が能く飛び出して來て居る、日本の歷史にも無論ある、早い話が平清盛の福原の邸へ眞夜中髑髏が出て來たり北條高時が舞つて居ると天狗が來て浮れるなども其一例であるが、朝鮮の歷史には、妖怪變化に却々念入なのが多い、殊に國家の興亡に關する大事件の時には、必ず變化がある、其又變化に頗る奇拔なのが多いのも面白い、要するに[illegible]史上に夥きを列ねたからだらう、史上に怪談を挿入する事に就ては、別に理窟もあるが、茲では其一二例を掲げる事とする。

忠清南道の扶餘は百濟滅亡の地として今でも有名な古跡の一となつて居る、其百濟滅亡當時の歷史を見ると頗る怪談がある、百濟の最後の王は義慈王と云つて、雄勝な人であつて屢々隣國新羅を攻め武威を輝かして居た、而し其淫逸樂時に諫言を呈する忠臣を退け、國家の衰運に頓着しなかつた、其處で流石の百濟の末路も漸次近よつて來た、同王の十七年の四月には大旱魃があつて土地が眞赤になつた、其から十九年の二月には多くの狐が宮中に這入つて、其中の一匹の白狐が佐平（役名）の書案の上に坐つて居た、四月には太子宮の雌鷄が小雀と交尾して居た、五月には扶餘の西の泗沘河に長さが三丈もある大きな魚が死んで浮かんだ、八月には背の丈十八尺もある女の死屍が生草津と云ふ處に浮かんで居た。九月には宮中の槐の木が人の泣聲の樣に鳴つて宮南路では夜鬼が出て來て泣いた、二十年の二月には扶餘の井戶の水が血の色となつて、西海の濱に小さな魚が澤山死んで浮んだ、百姓等が喜んで幾等食つても盡きなかつた泗沘河の水も赤血の色を呈した。

金剛山二律

水野錬梅

登金剛第一關

銀山鐵壁几千姿。雲作衣裳月作眉。玉女吹笙翔五鳳。仙娃煮石捧中[illegible]。山深虎跡留陰壑。澗大龍吟[illegible]。路破金剛關第一。移看造物出神奇。（玉女五鳳皆峰名）

宿楡岾寺

幾多堂殿碧山頭。木末晚[illegible]寒翠流。不斷溪聲山長舌。無邊月影古山秋。五十三佛留金色。[illegible]千峰翠[illegible]。半夜禪房偕語絕。寂然天地一[illegible]

京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　發行所
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
電話番號 [illegible]

仁川米豆取引　二日の二月限
[illegible]

▲廣告▼
反千圓の收益もある
藥草栽培
目下政府が奬勵金を下附して奬勵してゐる各種藥草の栽培は畑一反步から一收穫に千圓もあがるし又野外藥草を採取しても無資本で一月五十圓內外の利益が得られる其栽培法採取法販賣法等は東京神田表神保町五〇日本藥草研究會の講義錄を見るが一番よいハガキにて申込次第說明書規則無代進呈す

▼パイン獨特繰出式萬年筆▲
割引販賣（十二月一日より十二月十五日迄）
一點申分なき　絕對責任付の
書くに自由自在の快味あり『パイン』にあらざれば眞の萬年筆を語るべからずとの定評あり
定價　最新繰出式　六圓八十錢　同　金飾付　八圓八十錢
割引價　最新繰出式　五圓八十錢　同　金飾付　七圓八十錢
此際擧の御愛顧に酬ゆる爲前記の通り割引販賣可致候續々御用命願入候
京城太平通（電話長六〇〇九番・振替京城三〇〇番）
發賣元　京城日報社代理部

◇觀よ!!光彩陸離、生采潑剌たる本年棹尾號の盛觀◇
朝鮮公論
人類の精神と 講和會議　內閣總理大臣　原敬
◇歲晚と國民の省察（卷頭）……白眼　◇抱膝獨語……
吾人は義務の負擔をせんとす　慶應大學教授　田中[illegible]
最近の鑛業界
◇あくびの後……寸鐵子　◇太平夜話……夜話子　◇大邱行……[illegible]　◇作りの菊……靜軒
◇京城上流婦人訪問記（記者）　◇公論餘滴
警務總長 陸軍中將 兒島惣次郎論　有馬易水
◇一言如雷（浪人）　◇朝の歌（不案）　◇迎春の用意　◇大戰數字觀
戰後 對貨の確立を論じて國民に 警告す　陸軍中將　佐藤鋼次郎
◇囈語漫言……◇公論歌壇……◇公論俳壇……◇小品文
土地調査事業の效果　總督府財務課長　和田一郎
◇政黨政治と民本主義……◇官僚主義と時代錯誤……
講和會議と帝國の態度　朝鮮公論社長 衆議院議員　牧山耕藏
◇國勢調査の範圍及方法……田中事務官　◇檢黴制度改善の急……瀨戶醫學士
◇獨逸の屈服……堀內將軍　◇新聞社長盜難物語……迫川散人
◇議會と朝鮮問題……◇花柳覺帳……酒樂生
カイゼルの退位と 獨逸の今後如何　東京女子高等師範學校長　湯原元一
◇朝鮮に於ける水產業の發達　總督府水產課長　[illegible]
艶話（二）當世官民二幅對 物語　胡蝶庵主人
◇小說よりも奇なる鮮人の殉死……官沼生　▲ウィルソンとカイゼル……▲讀者の聲……▲藝妓番附
講和來と帝國の財界　朝鮮銀行副總裁　嘉納德三郎
李書房、丸奴、呂之助の話……雙影子
◇大公使とその感想　◇成田忠良氏逝く……
精神的自由と米國の長所を見よ　貴族院議員　江原素六
◆前月號は發賣後僅に二日間にして全部賣盡せり◆
購讀申込所　京城　朝鮮公論社　電話二〇七〇番・二四〇〇番　振替京城五七七番
定價一冊三十錢　郵稅一錢五厘◇六冊前金郵稅共壹圓八十錢◇十二冊前金郵稅共三圓五十錢◇全國各書店に在り

一、旭町文線道路改修工事
右來ル十二月四日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

▲物は付「果てない物は」[illegible]
▲發表後一週間以內に到着[illegible]の寄見通告者には五十錢書籍券を呈す但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

確實ナル賣ケ金屬
品質の確實　流行に後れず　然して廉價に　提供致す可く　多少共に御用命を
京城本町一丁目　時計商　平井時計舖　電話二〇〇一番　振替京城一〇六一

京日案內
[illegible]
◇女事務員入用　希望者本人來談　電話六九六番　京城本町二丁目　平田商店
看護婦及見習入用　希望者本人來談あれ　京城本町二ノ四五　山田醫院
女事務員募集
▲用度披露　▲西洋料理（一皿十五錢均一）　▲御燒（一人前二十錢以上）　明治町日韓印刷所前　電話（取次）二八五一　サクラ軒
店員募集　年齡十五六歲以上の者履歷書送れ　仁川　白神洋行
女事務員急募集　身元確實にして市內二人以上の保證人を要す希望者は自筆の履歷書携帶本人直接來社あれ　朝鮮公論社
店員至急入用　京城岡崎町五番地　淺川酒造場
レール車輪讓受たし　十一封以上完全なるもの　京城南大門外　中根商會
醫師代診生招聘　希望者は官員及履歷書並に給料其他希望事項を記載し至急申込まれたし　平壤大和町　藤本病院
年金恩給　低利長期即時立替　京城永樂町一　江州屋本店
外務社員採用　高給　京城黃金町三ノ二九一　太陽生命保險株式會社　京城支部
高等支那御料理　廣東　京城長橋町　新世界　電話二八二一番
毛皮なめし仕立　京城本町二　電話長二〇六五番
ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

◇大統領講和委員

米國政府の發表に據れば米國講和委員としてウイルソン氏自身出馬し國務卿ランシング氏、前駐佛大使エッチ、ホワイ氏ハウス大佐、ブリス將軍之が隨員たるべし（華盛頓電報）

◇大統領出發と隨行者

既電の如くウイルソン大統領の佛國渡航に關する主なる事項は全部決定し十二月三四日頃出發すべく其乘船は嚴重に護衛せらる可し尚主なる新聞協會の代表者は隨行を許され他の大多數の新聞通信員に對しては十二月三十日若くば一月出帆の船を當てらる可く佛、伊、白耳義等の大公使もウイルソン氏と同行す可しと（華盛頓電報）

◇ウ氏へ出席勸告

ノースクリツフ卿は大統領ウイルソン氏に對し講和會議に出席する樣頗る熱心に勸告したりと傳へらる（華盛頓電報）

◇米國復員開始期

米國政府の發表に據れば一般復員は未だ開始されず陸海軍の現状は兵員の一般的服務解除を許さず一般的復員が愈々開始さるゝ場合には確實なる職業を有する將校、下士卒に對し第一に復員すべしされど肝要なる産業、高等職業に對しては嚴重なる制限を施せる員數を限りて一般復員に先ちて除隊す可し右肝要なる産業、高等職業中には農業關係、建築關係、食糧、鐵道、造船、貿易及び建築技師等を含む（華盛頓電報）

◇米食糧制限解除

米國食糧管理局は十二月十五日頃を以て全國の食糧制限を解除す可し但し砂糖使用制限は依然繼續す可しと（華盛頓電報）

◇英帝佛大統領交驩

廿八日英帝の爲めエリゼー宮に於て開かれたる晩餐會にて佛大統領ポアンカレー氏は陛下の爲め乾杯式辭として「英人は共に苦しみ倶に戰ひ而して敵を征服せり吾人は永久に結合す可し」と述べたるに對し陛下はフオツシユ將軍の統率の巧妙なるに敬意を表したる後英、佛兩國間に存する利害の一致を賞讚されたり（巴里電報）

◇羅馬法王移住說

羅馬法王は講和締結後羅馬の住居を拾他に移轉す可し右は過激派思想に對する憂慮の結果なりと傳へらるるも這は疑し伊國政府の要請の結果なる可しと（倫敦電報）

◇前獨帝引渡要求權利

聯合國皇帝法律顧問官は政府に對し『聯合國は前獨帝引渡しを要求するの權利あり又戰前に締結されたる罪人引渡條約中に明示する罪惡の命令者又は下手人も同樣の適用を受く』と謂へり（倫敦電報）

◇獨前皇太子述懷

アムステルダム來電＝獨逸前皇太子は和蘭に於て語りて曰く『講和條約締結されたる曉に於ては米國は曾て米國と獨逸との親密篤かりし事を回想せん事を希望す余は何時迄和蘭に滯留するやを知らず予の將來は革命の如何に依りて定まる可し』と（香港電報）

◇安福倶樂部對徐意志疏通

安福倶樂部領袖の談に據れば徐總統と在京督軍、安福倶樂部との間に意志疏通し内閣問題に關し目下梁士詒一派と交渉中なるが成功するや否や未定なり倶樂部側の候補者は依然曹汝霖氏なりと（北京特電）

◇各督軍の決議

二十九日曹、張作霖氏其他徐總統と會見し要領を得ざりし爲め秘密會議を開きたるが段祺瑞氏をして更に内閣を組織せしむる事を求めたるに徐總統は婉曲に局を看る事を勸告し段氏を招きて協議せるが或は政變ある可し各督軍は連日段祺瑞氏邸にて協議し左の件を可決せり（北京特電）

（一）軍隊を整理する事（二）軍費を得る事（三）速かに副總統を選定する事（四）正式内閣を組織する事（五）新國會を保存する事

◇妥協會議と上海

政府は南北妥協會議の地點を上海と爲すに贊成せりと（北京特電）

◇黎元洪

黎元洪氏は一日天津より家族を伴ひ武昌に歸る可し（黎氏は巡撫衙門内に住居す可く該衙門の經營の準備成れり（漢口電報）

◇陸徵祥出發

陸徵祥氏一行は一日午後八時京奉鐵道にて滿鮮經由渡歐の途に就けり（北京特電）

◇陸徵祥通過

支那講和特使陸徵祥氏は夫人及び隨員一行十三名と共に二日午後七時十分京奉線列車にて來奉少憩の上同夜十時奉天發安奉線にて朝鮮經由日本へ向ふ筈なり（奉天特電）

◇戴天仇通過

支那南方派頭目戴天仇氏は二日午前東京より鐵路下關に著直に門司に渡り同日郵船八幡丸にて上海に向け出發せり（門司特電）

◇海軍進級

十二月一日附發表の海軍進級夕刊掲載以外の分左の如し（東京特電）

任海軍機關中將　木佐木幸輔
海軍少將　九津見雅雄
同　丸橋彥三郎
同　大山鷹之介
同　秋澤芳馬
同　白石直介
同　伊達只吉
同機關中將　相良澄
同主計總監　淺岡滿俊
同造兵總監
待命被仰付
海軍少將　平岡貞一
同　松岡修藏
同　岡野富士松
同　小山田仲之丞
同　堀輝房
同　金子滿壽
同　本田親民
同　下平英太郎
同　久保來復
同　戸祭文造
同主計總監
海軍々醫總監　櫻孝太郎
豫備役被仰付
海軍中佐　吉武貞輔　外四十二名
任海軍大佐
海軍機關中佐　藏澄儀三郎　外十三名
任海軍機關大佐
海軍々醫中監　大貫安三　外十一名
任海軍々醫大監
海軍藥劑中監　小林增作
任海軍藥劑大監
海軍主計中監　中野重孝　外十一名
任海軍主計大監

◇鎭海要港部職員

十二月一日附左の通り鎭海要港部職員發表されたり（東京特電）

補鎭海要港部參謀　海軍少佐　栗田了三
補鎭海防備隊機關長兼分隊長　海軍機關少佐　鳥居秀夫
補鎭海要港部附　海軍大主計　盛長吉

◇林前駐支公使

林前駐支公使は五日北京發朝鮮經由歸國の途に就く豫定なり（奉天特電）

◇米寢臺特別賃金徵收停止

米國鐵道管理總監はプルマン寢臺車特別賃金徵收停止を命じ十二月一日より實行せしむ可し（華盛頓電報）

◎米豆廻著漸增　鮮鐵滯貨八千噸

鮮鐵各驛に於ける米豆の廻著は近時漸く增加し來れるが目下の所各線の申込數量は概算左の如し

線別	米	大豆
京釜線	四、四〇〇噸	一六〇噸
京義線	七〇〇	一、二〇〇
湖南線	八〇〇	……
京元線	一〇〇	五〇〇
合計	六、〇〇〇	一、八六〇

◎仁川期米新高値

仁川取引所二月限は前日の強硬と內地の高移りに三十四錢の新高値を現はしたり

◎地方賦課率改正

松永京畿道長官は十一月二十二日附京畿道令第十條を以て京畿道地方費賦課金賦課規則中其一部を改正したるが之に據れば同規則第一條第一號中『本税百分の五』を『本税千分の三十四』に又同第二號中『同』を『本税千分の五十』に夫々改變せられたり而して本令は發布と同時に即日施行することゝなれり

◎米國參事官

米國駐日大使館參事官マツク、モレー氏一行六名は一日夜入京朝鮮ホテルに投宿中

◎各海港を利用せよ

＝釜山仕向は澁滯久し＝　安藤京管運輸課長談

穀類其他の鐵道貨物は内地連帶輸送釜山行切り共釜山仕向け現に停滯し輸送の途は容易に附かざるに付仁川群山等の各海港を利用して輸送の迅速を期するの有利とすべしと前提し安藤京管運輸課長は曰く

▲南送大停滯　十一月の一日より穀類運賃の改正を斷行し釜山著の長距離低減運賃を廢止し各海港著の短距離運賃を引下げたがその結果まだ釜山仕向けの貨物の申し込みは殆んど減ぜず各港著の申し込みも增加せぬ狀態である、乃ち目下の所南送乃ち釜山方面仕向けは停滯六萬噸を算してゐるのに北行は漸く二萬噸に過ぎぬ、然も北方仕向けの二萬噸は多く短距離であつて數量に於て三分の一なるのみならず實際の輸送力より見ると長距離の多い南送は北行より六倍以上に達する勘定となつてゐる

▲輸送を敏速に　然も今後年末や納税の關係並に豐作等の事情は益出穀を增加するであらう、從つて南方仕向けの貨物は容易に輸送が捗取らぬのである、商賈人としては釜山に出して釜山から船で內地に送つた方が採算上有利である然し乍ら輸送大に澁滯してその消化に少からざる時日を要する事とすれば前途相當の變動や荷痛みを見込む時釜山仕向けを

▲非常に餘裕がある譯　は云へぬが之を釜山に行比し仁川へ輸送する鐵道の力も十分であり阪神仕向の船腹は十分であり仁川の不利益である狀勢右の如く…

▲仁川の船腹　予はかく信じて本局に來訪さるゝ穀類業者に說き更に各驛でも相當の手配を講じてゐるのであるがさらば釜山積み出しを止めて仁川に撒出して十分の船腹があるかと云ふにその方は大丈夫である、乃ち仁川倍船組合でチャーターせる五百噸級の博多丸並に宇和島丸二隻の外大阪商船は北鮮方面に配船せる現行定期船の外朝鮮各港に向け十一艘の臨時船を配する事となり、其輸送力は一航海で七千噸乃至八千噸を有してゐる、乃ち之れを月二航海と見るも一萬四千噸乃至一萬六千噸となる譯である、然るに仁川倍船組合の船腹利用を如何と見るに博多丸を先月八日に出帆せしめたが仁川に積荷なき爲大連に廻航し辛ふじて豆粕を積んで阪神に向つた又十七日に入港した

▲宇和島丸　は漸く滿船したが十八日に仁川を出た商船の安東丸は四百五十噸の積載量を有して居るのに仁川では三百噸しか積荷はなく廿三日の商船信濃川丸は四百五十噸の積載量中二百噸を辛ふじて仁川に積み木浦で殘餘の二百五十噸を積載した又廿六日に出た商船の鎌崎丸は一千三百噸の積載力中仁川では僅々四百噸しか積ず餘殘の九百噸は群山で充たすの止むを得ない狀態にあつた一般臨時船を配して一港で船腹を充させないと云ふとは船主にとつて多大の不利益である

◎中止して短距離低減運賃により仁川若くば群山等に廻送し多少の運賃は高値等のため不利益であつても成るべく早く輸送し成るべく早く貨物の處分を了した方が利益になりはせぬ乎　だから予は各荷主が釜山仕向けのみを求めず各港の利用を怠らぬ事を希望して止まぬ次第である

講和後の東洋（四）

激烈なる經濟戰

樞密顧問官　一木喜德郎氏談（其四）

次には原料といふことに就いてであるが、我が國は元來國土の小なる爲め直ちに之れが缺乏を感ずるに至ることは止むを得ないことであるが、一國として最も大切であるべき鐵の如き又石炭の如き全く

▲自給の量がない　然も鐵事業の如きも近來發達せしとはいふも全國に於て僅に九十萬噸しか製産能力がない。而も我が國一年の需要額は百四十萬噸に上り居ることを思はゞ、現狀に於て其の不足を感じつゝあることは明かである。單り鐵のみならず、凡ての原料の蓄積といふ上には最も力を注がなければならぬ。而も此のことは既に各國共研究してゐるのであるから、將來これが原料の供給上各々苦心を要するに至ることは今より明かなことである。又經濟競爭上各國共に保護政策を執るに至ることも

▲將來益々烈しく　なるであらう。殊に之が競爭の東洋方面にて自由に行はるゝに至ることは將に顯著なる事實として到來しつゝある形勢である。然り實に東洋は最も激烈に行はるゝ所の經濟上の戰場となることであらう。大戰ことに輝きは遠ざかつてゐたが經濟の上からは最も位置の接近したる處所に我國はあるのである。我國民たる者一層の奮勵を要する次第である。元來我國は東洋に於ては知識の點に於て一日の長たるの國である。其他の點に於ても他め得るの素質を

▲各々充分に具備　してゐるのであらうか。吾人之れに對して頗る疑ひなきを得ないのである。又歐米諸國と雖も一長一短はあるが、主なる國に至つては、有らゆる點に於て略ぼ實してゐる。獨逸は戰では敗者の地位に立てど經濟上に於ては容易に侮るべからざるものあるを認むるのである。乃ち同國は知識有り原料亦豐富であるが爲めである。殖民地を失ふに至るとしても原料は豐富である鐵に於ても石炭に於てもである。ア

▲鐵の數量に於て　はルサス、ローレンを失ふに至れば影響は受くるであらうが、其れで尚ほ同國は豐富なりといふことが出來る。同國が有力なる戰爭の一人なることは此の點に存するのである（東京支局）

鳥瞰錄

▲此の間著任した京城駐箚米國領事のベルグ、ホルツ氏は其ネームの發音やら綴りやらが如何にも獨逸式だ▲獨逸人ではあるまいかと心配してゐる篤志家もある相だ▲成程發音や綴りは獨逸式だがまさか獨逸人でもあるまい、それも二代三代も昔に遡つて行くと或は獨逸人かも知れなくなる譯▲然しベルグ、ホルツ氏は最早著任してから二週間以上にもなるのに未だ何處へも挨拶に廻らない樣子▲何だかちつと變だ自分が獨逸種だから遠慮して出ないのではなからうか等と勝手な臆說▲立てゝゐるものもある▲而し歐亂も茲に終熄を告げこゝでも彼處でも休戰祝賀だの戰勝祝賀だのと騷いでゐる今日此頃今更獨逸種の詮索立ても可笑い▲戰勝祝賀と言へば金谷京城府尹は東京や大阪で盛んに行つた祝賀を知らぬ顏の半兵衛然と打ち眺めて居る▲提灯行列の一つ位は行つても罰は當るまいと言ふ世間の非難に對し憤慨して曰く▲何も休戰したからとて酒を飲んで騷がなくとも良からう勿論休戰に對しては滿腔の祝意を表してゐるのだ▲然し休戰を以て戰局の終熄を意味するものではない講和條約の成立を見る迄はごつちへ廻るか判らないぢやないか▲戰勝祝賀會の如きは講和條約の成立してから行つても遲くはない筈▲我々は其時悠然と盛大に戰勝を祝するのだ何も慌る必要はないよ▲然ら人に當り散らした未だ成る程府尹には府尹らしい深い考もあるものかなと感心して了ふ人士もあるが果してどうだか……

◎佐々木長官登廳　一時重態に陷りし佐々木慶南道長官は病氣全快し二日より登廳す（釜山特電）

◎江原隊署長會議　江原道警務部にては管内各隊署長を召集し來る十三日より四日間恒例隊署長會議を開催する由

◎松田銀行部長入京　朝鮮系統の浦鹽松田銀行部長安達欽久氏は二日朝入京數日間滯在京城銀行家と打合せをなす由

人事消息

▲風間穗助氏（松島洋行重役）二日夜入京
▲西田常三郎氏（元山每日社長）同上奉天旅行へ
▲安達欽久氏（鮮銀浦鹽支店長）同上不知火へ
▲荒川衛次郎氏（長春市場株式會社取締役支配人）二日出京
▲福士德平氏（釜山商業學校長）同上
▲伊香賀矢六氏（釜山商業學校長）同上
▲佐藤陽太郎氏（晋州農學校長）同上
▲佐藤行久氏（光州農學校長）同上
▲森島治氏（釜山實業家）同上
▲百留恩雄氏（大倉組店員）同上
▲鳥山剃吉氏（久原甲山鑛山所長）同上
▲松寺平源氏（覆審法院檢事長）二日午前八時來浦兼二浦製鐵所長の出迎へを受け製鐵所及び三菱礦山等を視察し迎賓館に投宿せり（兼二浦特電）
▲八木生男氏（金北技師）一日夜入京

◎哈驛貨物輻輳　▲東支鐵道の輸送難は久しきなるにあり現に哈爾賓驛構内に到著せる貨物六百車は荷物の引取[illegible]なるが[illegible]け中止は二十六日まで繼續する旨

◎英國機械輸出 [illegible]

▲貨車泥棒　はこの混雜に乘じて著しく激增したる犯罪に[illegible]

◎新兵入隊式 [illegible]

東京支店設置
當行ハ本日ヨリ左ノ場所ニ東京支店ヲ設置致候間御愛顧之程奉希上候
大正七年十二月二日
株式會社　漢城銀行
東京市京橋區南傳馬町二丁目三番地

朝鮮及滿洲　十二月號出づ　第百三十八號　毎月一日發行　價卅五錢税一錢半　前金半年分二圓　一年分四圓
▲歲暮れて思ひ深し……釋尾旭邦
▲デモクラシーの勝利……加藤高明
▲戰後の支那と西伯利……上田博士
▲經濟界の將來……南波東京取引所理事
▲戰後の景氣……小川博士
講和來……釋尾旭邦
講和と物價
▲東京通信……飛魚漁史
▲農業上から見た山東……本誌記者
▲西伯利所感……
▲北支那を見て……持地遞信局長
▲印度視察談……岡敬
▲名士の邸宅……
▲溫言雜事……中井錦城
▲顏と音聲上から見た大連紳士……梁吟
小說　血染の信號旗
▲成田忠良君を悼む……旭邦生
▲拋り出された一子夫人と遺兒……ケイエム生
▲毛色の變つた色魔……記者
▲朝鮮の犯罪……一記者
▲文藝……▲問答……▲滿鮮事業だより……▲鑛山表……
▲風聞錄……
發行所　京城旭町一丁目　朝鮮及滿洲社　電話二五〇　振替京城三一

東京六櫻社製　石版インキ各種
東京求林堂製　石版活版インキ各種
東京櫻井製　名刺カード各種
朝鮮一手特約店
京城府南大門通り二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話長四〇一番　振替京城一〇五八番

婦人公論
値段表見本帳無代進呈
十二月號　壯觀
女子高師　遺稿燒却事件の感想……宮田脩
日本婦人と生活……村上法學博士
晶子氏に答ふ……山川菊榮
歲暮品くらべ
戰後婦人の覺悟……下田歌子
大正七年度の重大事件一覽……記者
冬の夜語り……田中貢太郎
長篇　白い鳥……田山花袋
暮春……（四夫人談）
主婦の支度
花嫁の間違……中川愛氷
小說　傾城大橋……池田大伍
家事科學展覽會と內職展覽會を見る……一婦人記者
嵐の曲……長田幹彥
芝居を見る女客……伊原青々園
原內閣……吉野作造
大阪の惡口……坪內士行
東京十二原の十二湯後一……藝術的挿畫數葉
娘強盜獄中の自殺……澤田撫松
東京市本郷區西片町十四　振替東京二三一四　中央公論社
定價廿五錢　郵稅一錢半

清酒賣切廣告
普通酒　金日乃出印　高麗ノ花印
前記普通酒貳種本日ヨリ當分ノ間賣切仕リ候條此段謹告候也
優等酒　三巴自慢印　三巴正宗印
追テ左記優等酒ハ從來ノ通リ御引立ニ預リ度奉懇願候
大正七年拾貳月三日
京城蓬萊町四丁目
三巴酒造株式會社
配達人　內地人貳名募集ス　但シ身許保證人ヲ要ス

◎靴は益々暴騰する、底鉄は靴の保護上欠くべからざるもの品質即ち底鉄中のライオンたるライオン印靴底鐵を使用する事は目下の急務
山羊印米國製センチュリーキット皮
鳳凰印日本皮革會社製キット皮及底皮
東洋總代理店並に底鉄製造販賣店
橫濱。東京。大阪
合名會社　野崎商店

レール
右格安至急賣却
米國製十二磅附屬品付新品入荷拾哩
中古品壹哩
京城永樂町二丁目（電一一四七）
軌條　機關車　機械類　船舶　賣買代辦業
輸出入商　榮洋行

內科　小兒科　入院隨意
院長　醫學士　小林千壽
副院長　東北醫學士　小川武
永登浦分院長　醫師　久保廣次
京城旭町一丁目（電話九六二番）
小林醫院

陸軍御用
各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候
萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候
人蔘エキス
朝鮮京城本町
津村兄弟商會
電話　四八〇番　一一八七〇番
振替京城三五一一番
電略（ツ）又は（ツム）

[illegible]物資なる運輸を澁滯せしめつゝあり即ち其の最なるものは

▲著荷の處分 頗る悠長 ▲廿一日より[illegible]は止むを得ず一時長春より哈爾賓向けの凡ての貨物の引受を中止したり引受[illegible]哈爾賓の商人が小麥木を如何に大きく使用せんとして苦闘しつゝあるを知るに足るべし

[illegible]て實際に[illegible]するものあり、かくの如き主を失へる大貨物が線路上を轉々して漸く哈[illegible]當時[illegible]複査すべき[illegible]を立て着々其歩を進め從つて既に一部輸出禁止の解除を發表し尚未だ[illegible]に英國駐剳日本大使に打電し大使は當業者より直接提出せる願書に接したる更に合衆國政府に取次ぐ願[illegible]特に穀類に對し此手段を採るの漸く增加したり然れども左程急を要せざるものは戰後に於ける價[illegible]在りと（北日）

◇邑はづれ　鼓を出て冬日和ある堤かな

○オムスク領事館復活か

講和會議の問題上からも復活するのは必要だ　松島課長莫斯科總領事館附の名で赴任する

莫斯科、オムスク方面の領事館は引揚後久しく其儘になつてゐたが西伯利の秩序も漸く恢復されたので外務省通商局第一課長松島肇氏は莫斯科

◇總領事館附 こいふ名で任命され遠からずオムスクに向ひ同地に於て其方面との外交關係は復活する事になつたこいふ右に付松島氏は語る『オムスク政府の基礎が鞏固になつて列國の承認を得る迄は尚幾多の波瀾を豫期せねばならぬが同地過激派は大部分潰亂し

◇英軍が到着 してゐるから秩序は大部分恢復されてゐる從つて領事館も早晩復活するであらう米國の經濟援助は極めて大規模に行はれて居るが日本の物資援助も着々進行し既に數回食糧品日用品の輸送をしてゐる彼の地方の窮乏は實に甚だしく砂を混じた麥粉から麵麭を造る始末で近頃は

◇喜んで米飯 を喰つてゐるさうだ要するに今後オムスク政府の成行は日本に執つての重要問題で講和會議の席上露國問題を討議する上からいつても同地方の領事館を復活するのは必要の事こ思ふ』

○五百八十三年前支那 道士の埋沒せる奇代の 沈香木發見さる

―鴨綠江口に於て―

古來の口碑に鴨綠江口に沈香木ありこ傳聞し京城花園町八十一番地下野浪登氏は好奇心に驅られ江口附近を探索せしに果して高さ一丈四尺幅六尺厚さ三尺の

▲石碑を發見 し其碑文に『益州伊彥發願埋沈香三百條元統三年二月』こあり古色蒼然彫刻の文字稍明瞭を缺ぐも古老の談に往昔より沈香木を船に載せて此地に來り碑を建て、埋め去れりこの口碑ありこ云ふに力を得數箇月に亘りて其所在を探り得たり碑文に三百條こあるも僅に末口四寸乃至八寸長さ五尺乃至一丈一尺五寸の者十數本を發見し得たり內一本末口

▲五寸長一丈 の香を削り『道人明、戒香木△△△』こ刻す其發見沈香木は現に下野氏の自宅に在り即ち元統は元の順宗の世にして元統三年は西曆は一千三百三十三年我朝の建武三年に相當すれば今を距ること實に五百八十三年前支那道士の埋沒したるもの、如し小香木は印度地方の產にして一名伽羅こ云ひ水に沈むを上品こす

▲二千年以上 に達せざれば沈香料こし清爽なる香氣を放たすこ云ふ我朝に傳來せしは推古帝以前にして仙臺侯の伽羅を以て下駄を作られしは有名の事實なるが往昔印度より傳來せし一木は現に德川公爵家の寶物こして現存せるもの、み今下野氏の奇蹟的に拾得せし沈香木を以て或は茶室を造り又は床柱こせば利久の茶碗に比す十萬金を投ずる茶人を蹶倒せしむるに足るものあるべし

○法嗣姫 得度の御儀

村雲尼公親しく御剃刀を執らる

◇京都瑞龍寺にて

京都村雲瑞龍寺法嗣こ治定の九條温子姫は愈々八日を以て得度の式を擧げらるゝこ當日午前九時て莊嚴の本堂寶前に御靈供、御供物を供へ九時卅分御戒師村雲尼公には紫精好の法衣に緋紋白の七條袈裟を召し雲立框の指貫を著けられ受者の温子姫には赤地の御召に桃色縮緬地の御袿、澁色の袴を著けて御父母こ共に出座、斯くていよ〳〵式に移り尼公の三寶禮讃讃經及び御父母こ禮拜、尼公の表白や御經讃祝示に次いで尼公親しく御剃刀を執らせて大衆讀經中に御剃髪あらせられ右終れば姫は侍者の捧ぐる藤色精好の法衣こ召替へ緞錦の五條袈裟、紫地八ッ藤の指貫を著け全法體こなりて再び尼公より法名を授けられ尚姫及び御父母禮拜の上尼公より本尊一折紙、念珠中啓等を授け讀經の勤修あり、て全く式を終了の筈にて當日は伏見、閑院、東伏見各宮を初め九條公等御親族の方々には御入洛御參列又は御使を差遣參列せしめられ尚右三宮家よりは小葵地、緞中地等に菊花御紋章を織出せる緋紋同五條七條の御袈裟、九條公よりは金紗錦の五條袈裟等を贈らるゝ由

○祝賀能樂

各派總出で……

◇御大典能を其儘に◇

休戰條約成立祝賀の意味を以て能樂會主催の下に在京寶生、觀世、梅若、喜多、金剛の五流能役者大倉、和泉二流の

▽狂言師 大皷、小皷、笛の各樂師計百四名は來る十二月二十日九段能樂堂に祝賀能樂を演奏すべく決定したが當日は　今上陛下御大典當時宮中にて行はれたる前後二日に渉る演奏番組全部を其儘襲用すべく能樂會よりは不日現閣僚を始め大臣待遇者、駐日各國在京使臣全部

▽朝野の 重立ちたる紳士千名に對して招待狀を發送する筈尚當日能樂演奏後は大園遊會を開きて前記能狂言師及び關係者は假裝して來賓接待の任に當り破天荒の時來を受くべく昨今既に寄々其裝を凝してゐる外使臣には當日御文の態能の說明書を配布するこ

○新兵の宣誓式

入營式は三日

御眞影拜賀式を擧げてこれから赤飯の御馳走

一日から龍山七十八、七十九兩聯隊に入營した初年兵八百四十名は二日午前十時頃から各所屬中隊に於て軍人こして一番先に必要な『手帳に氣を付け』を敎はつた上、嚴な宣誓式が行はれた先づ中隊長は聲高らかに『今般御讀聞け相成候讀法の條々堅く相守り誓つて違背仕間敷候事、右宣誓如件』こ讀み上げるこ一同

▲威儀を 正して敬虔な心持を緊張した顏面に表して固くなる樣て中隊長は軍人精神、隊內の規則等に就て分り易く解釋して皆得心が出來たら宣誓こいふので一人宛恐る〳〵進み出て署名した下に拇印をして引下がるのが濟んで午後一時から南大練兵場に一同を集めて御眞影拜賀式を擧げた當日は隊の方でも

▲赤飯に 頭付きの肴こ云ふ特別の御馳走が出たので何れもニコ〳〵して居た午後からは三人五人こ組を作つて隊內を彼方此方こ散歩して種々な軍器を珍らしさうに眺めては新に入る兵營生活を瞑想して居たが當地には初年兵の知り合が大分居るので面會に來て喜ばせて居たものも可成りあつた三日よりは一日約一時間の割合で機械體操や兵式體操を敎習される事となつて居る因に愈々立派な兵隊こなる入隊式は三日午前十一時から擧行される筈である

◇詠進者へ (3)

用紙こ書式こ 明瞭に認めよ

詠進者の最も注意せねばならぬのは書式である、如何に優れた名吟であらうとも書式に遺漏がある時は遺憾ながら沒書されなければならない、御題詠進の書式は

▽竪詠草 こ云ふのである、それを式場で披講される場合にはこれを錄事が懷紙に寫しかへるのであるが、その他の詠草は其ま、懸別に綴られ乙夜の覽に供へられるのである、詠草を淸書する場合ひに先づ第一に注意しなければならないのはその用紙である

▽用紙は 絕對に檀紙、奉書、杉原紙、美濃紙の中の何れかでなければ採用されない、中には短冊や色紙、或は半紙や甚だしいものは端書や繪端書に書いて送るのも澤山あるさうだが、これは非常な間違ひである、用紙の撰が濟んだなら愈々淸書の段取こなるのであるが、その

▽書式は 先づ用紙を二つに折つて更にその儘五つに折る（紙全體から云へば十に折る譯である）

表書式

正 成上	朝晴雪	初句…二句…三句…	四句…五句	

その五つに折つた最初の欄の下部へ自分の名を書いて下に『上』の字を添へる、決して

▽姓を書 いたり、又姓こ名を書いたり、或は雅號を書いたりしてはならぬ、其他印や花押しなどを押すことも大禁式である、それから第二欄目に御題を認め第三欄目へ歌の上の句だけ書き第四欄目へ歌の下の句を認め、第五欄目は何も書かないで空けて置いて好い（本項未完）

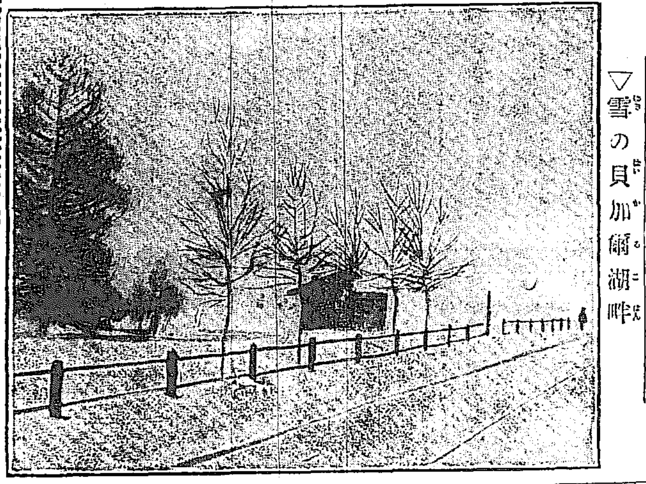
○風邪を引く汽車

防寒の設備が無い

二十九日哈爾賓にてブラゴエチエンスクより敦賀に歸着したる一船客の談に據れば同地の物價は騰貴に至り

◇益々騰貴 し目下の相場は牛乳一フント五ルーブル、角砂糖一フント十一ルーブル、牛肉一フント十六ルーブル、小豚一頭五十五ルーブル、雞一羽十二ルーブルを唱へ尚附近の山林に潜在し居る赤色軍の時々市中を騷がすより市民は

◇強く恐怖 し居れりこ黑龍鐵道は酷寒期にも拘らずこれが防寒の設備なき爲め乘客は孰れも困窮し多く車中にて感冒に罹る者ありて同鐵道の乘車を怖るゝこと甚だしこ（敦賀）



▽雪の貝加爾湖畔

◎京城の產婆會

醫師から講話を聽く

京城產婆會にては去卅日午後六時から西四軒町京城病院に於て本年度の決算報告があつて本年度の當番幹事の改選を行ひ[illegible]、小かつ、船山りよ、細樋きみの諸氏が其任に當ることゝなりそれから二宮病院長『前頭位に就て』『妊娠月數測定法』こ題する二つの講話、衣笠醫師の『臍帶切斷時期に就て』こ題する何れも面白い有益な講話があつて茶話會に移り各自の經驗談に花が咲いて散會したのは十時過ぎであつた

○變裝して

鹽專賣局員不正小賣人を調ぶ!!!

長野市は目下漬菜時なるに鹽缺乏し小賣人の中には暴利を貪る者有りとの噂立ちたるより、越後小出雲專賣局より數名の官吏草鞋履にて普通客の如く裝ひて鹽を買ひ高値に賣却する物より始末書を取り居れり（長野電報）

○新年の雜誌 五百五十種

紙の暴騰で發行部數を控へる

新年號の雜誌は早くも本月五日頃から店頭に現はれるが、紙の値は最近に於て更に著しく暴騰し、戰前に比べるこ

▽四倍 以上になつて來たので、市內の各雜誌發行所では、新年號發行の際ごい所で紙價暴騰こ來たから堪らない、そこで發行所では賣捌店の方へ『今年は怎んな景氣でせうこ』尋ねては註文以上の餘分を刷らない樣にして居る右に就き某書肆は語る『紙價

▽暴騰 の爲め各發行所の手許は何れもギリ〳〵一杯だらうこ思ひます、新年號も五日から出初めますが皆手控へて居る樣です、店へ問合せて來る向へは餘り多く刷り過ぎない方が、良いだらうこ注意して居る位ですから、例年の樣に賣れても賣れなくてもよいこ云ふ樣な無鐵砲な發行の仕方はしないだらうこ思ひます、現在京市內で賣り出す

▽種類 は五百五十種許りありますが、正月の讀み物こして市內及び地方を通じ、一番多く賣れるのは娯樂物少年少女の樣な、小供用のものこ婦人に關するものなごで、これ等の新年號は每月の二倍以上も出ます、其他の雜誌でも二三割位多く出る例になつて居ますが、この書き入れの時に紙價暴騰こ來られたのだから發行所には氣の毒です』

新年文藝 募集

懸賞

課題 ▽和歌『寄羊祝』▽俳句『双六』▽川柳『騙』▽俗謠『戲入』▽ものは付『明るい物は』▽一口噺 ▽下句付『不和に關するもの』▽謎『アラ嬉し』▽謎『諧和こかけて』

制限 （一人に付）一題一首又は一句、但し一人に幾題投稿するも可し（用紙）葉書又は同型の紙（〆切）十二月十五日（注意）題每に別用紙に認むる事、京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品 （各題に付）▲一等一圓（一人）▲二等五十錢宛（二人）▲三等卅錢宛（三人）（但し本社代理部の相當書籍券贈呈）

○梅若會の淨瑠璃 竹本奈良梅の後援會にては三、四、五の三日間每夜六時より[illegible]に於て[illegible]淨瑠璃を催し[illegible]後援のため鶴松、鶴澤小庄、若葉、今竹本梅若連中出演の由

▲初日（三日）赤垣（千崔）酒屋（鶴）日吉丸（兵泉）忠六（吗）宮原四（安東臨）嘉之助）堀川（總掛合）▲二日目（四日）白石（若榮）安達三（鬼ト）いざり勝（見佐）太功記十（旭昇）合邦（鶴の二巴）壇之浦兜軍記（總掛合三味線奈良梅、琴胡弓小庄）▲三日目（五日）紙治（夢治）忠六（十六）[illegible]四（[illegible]）酒屋（[illegible]）忠四（仁川勝昇）廿四孝（如意）三味線竹本奈良梅、鶴澤小庄 竹本梅若

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲物は付『隠されぬものは』

◎……剎那の喜び（一等）　濟陽驛前　淺雄千爺平
▲……日傭家の嫁　京城　美人草
▲……姑一[illegible]　京城　はせこ
……臨産り　仁川　花扇生
▲……下女の身にあまる主人の情け　春川邑　秋芳子
……裁判官の前　仁川　松洞
▲……頑張つて見付られた摘み喰ひ　平州　南紅子
▲……山猫　龍岩浦　大石
▲……滿期の除隊　京城　東濤

鑛業登錄

▲鑛業權移轉

[illegible]

題字 陸軍大將元帥公爵 山縣有朋　陸軍大將元帥伯爵 寺內正毅　男爵 後藤新平　中村關東都督　宮尾關東都督府民政長官閣下　國澤滿鐵理事長

滿蒙通覽

大連 福昌公司調査部編纂

全三冊 豫約特價金貳拾圓（定價金貳拾五圓 送料各冊貳拾錢 滿鮮臺各五拾錢）　壹冊賣 特價金七圓 豫約（前金不要）十二月二十日限り

滿蒙は我帝國の勢力範圍たるべく、たらしめざる可らず、殊に露領西比利亞は歐洲戰役に於ける列強の謎の地たるに於て、此際此地、滿蒙の勢力範圍を的確ならしむる事の其れが、我帝國對西比利亞の先決問題たらずんばあらず、然るに滿蒙に對する我國著書の多くが斷片的たると共に、其れに依りて得る所の智識も亦零碎的たるを以て、歷史、風俗、人情、宗敎、敎育、產業等の有ゆる總てに對して、僅に總括概念を得るものすら殆んご皆無なるの觀あり、從て勢力範圍の施設こ見るべき何物も滿蒙に有せざる程に、滿蒙に於ける無限の富源は可惜、地下に委棄せられつゝあるぞ憂たてけれ、於是乎大連なる相生由太郞が經營せる福昌公司が慨然として蹶起し數年間努力の結晶になれるものは即ち此著述にして、滿蒙に於ける有ゆる總てを網羅編纂したる謂ゆる滿蒙の百科辭典こも云ふべきものたり、故に滿蒙に關する唯一の權威ある著書たるのみならず、更に是に依りて國際間の謎たる西比利亞を解決するを得べく、其等の一大寶庫は我國民に依りて鎖鑰を開かるゝ事又難からずこ信ず。

內容見本進呈

發兌 東京日本橋數寄屋町 振替東京一三七五〇番（電話本局二七三七番）大阪屋號書店
發賣元 京城本町 振替二五七三番 電話六八四番（同店）釜山・大連・旅順・鐵嶺 大阪號書店

謹告

謹啓時下金風颯爽の候益々御隆盛奉慶賀候陳者弊商會儀格別之御引立を蒙り以御陰逐次盛大に趣き候段難有深く奉感謝候然るに今般業務擴張の爲營業一切を擧げて新設の東洋信託株式會社に讓渡仕り更に大々的發展を畫し度候間何卒爾今倍舊の御愛顧に預り度偏に奉懇願候先は右御披露申上度如斯御座候 敬具

大正七年十一月　合資會社 東洋信託商會

肅啓益々御隆昌に被爲渉慶賀至極に奉存候陳者今般資本金貳拾萬圓を以て東洋信託株式會社を設立し第一期事業として匿名組合東洋信託商會の營業一切を讓り受け更に業務を擴張し誠實迅速に御高需に應じ可申候間何卒一層の御同情を以て御眷顧御引立を蒙り度偏に奉懇願候先は右御披露申上度如斯御座候 敬具

大正七年十一月　大阪市北區堂島濱通一丁目

株式會社 東洋信託　電話北長八三四番 一九二番 振替大阪三八四五一番 電略（ト）

營業科目
一、公債株式現物賣買
一、一般の信託業（證券部 金融部）
一、諸商品委託賣買

取締役社長 飯野健次　常務取締役 岩崎龜三郎　取締役 早田勘太郎　取締役 堀內豐次郎　監査役 岸田介五郎　監査役 山崎才次郎

▲▲▲證券部の事業として好機逸すべからざる平和株の先驅たる大株新其他に向つて破天荒の放資シンヂケート團を組織せり內容御申込次第送呈

笹山章著　發行所 日ッポヤ書店

新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在

誰れにもすぐに間に合ふ「必ず上手になる理想的新案獨學書なり」

著者は鮮語獨習に關し從來の所謂獨學書類を其撰を異にし後に一新機軸を出し特に新案の文字を冠せり 上欄にはイロハ辭典及朝鮮地名集を付す 本文には諺文の組立、文法、發音、數字、會話、日用單語、略語、俗語、作文等鮮語に關する一切を網羅せり

ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料二錢 代金引換小包七十錢

發賣元 京城太平通 京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

お正月が近づきました 本年流行の時計、鎖、眼鏡、指輪、羽織紐、婦人小間物、櫛、笄、根掛等 嶄新のもの色々澤山店頭に陳列して居ます 是非御來店御一覧下さい

京城 村木時計店

漬物問屋　大阪市南區新戎橋筋電車通　含森內商店　電話南二〇三七 振替大阪三四〇三

京城本町 大阪屋號　總督府編 陳列品 第一種

最新刊

田中咸一 帝國の使命と青年の覺悟 定價一圓五十錢 送料八錢
科學と犯罪 寺田精一 一、三〇 八
食物の經濟 澤村眞 一、五〇 八
露國革命記 布施勝治 一、二〇 八
文化より見た鎌倉 一、三〇 六
入門から歸香 一、五〇 八
谷津直秀 動物の心 定價參圓五十錢 送料十二錢
支那正觀 有賀長雄 二、〇〇 八
金國の警察及裁判法 四、〇〇
佛樣素行調査 一、三〇 六
生田春月譯 初戀 定價壹圓 送料八錢
修養の力 一、二〇 六
良妻の內助の力 平間力之助 一、七〇 八
運命の丘 高村 一、三八 四
少年日本外史 三〇 四
馬鹿の小猿 六〇 六

白神洋行　鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帶革總代理店（物價表御一報次第無代進呈）
ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコップ、シヤブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他

母と子 四十

北島春石作 森田久畫

秘書役(三)

淡紅子は油を引いたやうに滑らかな口をはつと噤んだ。そして、二人はいつの間にかお濠端を離れ、日比谷公園の正門前まで來かゝつてゐた。

先刻、駒平と猪狩とがこゝで電車を降りた時と變らず、ますく〜觀劇の人は出盛るばかり、二人もそれに捲込まれ、眞黒な人波に揉まれながら、自分からは動くとも無く、渦のやうに公園内へと吸込まれて行く。

蟻が餌を漁りをするかのやう、心字池のほとりは人の往來が繁く紅い擬寶珠が空を飾らすまでに擁立つてゐるが、佐久間證一と淡紅子は他の路に外れ、西洋花を植込んだ花壇をめぐりめぐつて、なるたけ靜かな場所をさがして歩く。

暫くはお互に對話もなく、證一は懸念と葉巻を燻らせてゐたが、最後の一喫に濃煙を吐いて、自暴氣味に叩きつけた喫末を、赤皮の靴先で踏躙りながら、

『淡紅子さん。』と改めて呼びかけた。

『ね。』と男の顔を見上げた淡紅子は何やら手持無沙汰の、絹手帕を閃めかけたり噛んだり。

『はゝゝは……』

『さ、』證一は不しぬけに笑ひ出した『急に堅くなりましたね。』

『さう云ふ譯でも……』

『ぢや、何うしたんです?』

『…………』

『ね、今の返辭を聞かせておやないか。』

『でも、あのね、佐久間さん。』

『大分投間詞が多くなつた。女がでもとかねとかで濁滾するやうになれば、既に最後に近づけるものと思ふべしだ。』

『そんなに疑られるなら、』わたし殘念だから思ひ切つて言ふわ。』

『うむ、早速お伺ひしやう。』

『實は、あの……』淡紅子はやうく〜思ひ切つて『未だお母さんにお願ひしませんのよ。』

『何うしてゞす?』

『だつて、それにはいろ〜事情がありますもの。』

『事情?』

『ねえ、ほんとに困つたことが出來たんですもの。』

『たゞ困つたとだけぢや解らん! その事情ならそのを打明けて貰はう。』と、證一は嫉妬に眼を輝かせ『他に嫁入口が出來た……とでも言ふんでせう。』

『あら! それは姉さんの事よ。』

『いや、貴女だつてうつかり信用されん。近頃の樣子は茶飯事に非ずだ。』

『まあ何うしたらいゝだらう。』と口惜さうに手帕をビリ〜に引裂き『あんまりよ! 佐久間さん。』

『は、そんなお芝居はあとにして、今の事情なるものを聞かせて貰はう。』

『言はないで何するもんですか。』と、淡紅子は反對にくつて掛る勢ひで『貴方の兄さんが拙い事をやつたものだから、お父さんやお母さんに對し、貴方の信用までがゼロになつたんですもの。』

『兄貴が……僕の兄が何うしたんです?』

『貴方には多分秘密になつてるでせうが、三年も前から義姉に大の御執心で、何でも嫁にくれと無理談判を……それが原因と云ふ譯でもないでせうけど、もう大分以前のこと、義姉は家出をしたまゝ今以て行方不明ですもの、その弟の貴方と結婚したいと願つても、こゝ當時は父と母も快く承知する筈がありませんもの。』

『ふゝむ! 志保子さんは家出してるんですか。』

『さうよ! 尤も見當がつかない譯でもないけど、北方に何か消息がついてるから、うつかり手出しが出來ないと、お父さんもどんなに殘念がつてるか知れませんの。』

『不認識だ! そんな事はない筈だ。』と、證一には信用されぬらしく『僕の兄貴から持込んだ緣談を避けるため、好い加減なヨタを飛ばせてるんだらう。』

『いゝわ、それこそ意地よ。』

『然し、確かに伊豆の伊東へ轉地療養中だと聞いたがなあ。』

選外秀逸 和歌

あさ寒の大江の水にかげうつしさわく〜と鳥の鳴きてゆくかな 京城 [illegible]

飼ひ馴れし小猫盗られて手焙りの前に所作なき冬の朝かな 奉天 ともゑ

冷やゝに冬のあしたを時計鳴る目殘し夢をすてゝ起きなむ 京城 天野溪村

病室のカーテン上げてわくら葉のおつる嘆きを聞く夕べかな 大邱 三輪百合子

冬の朝水田に光る薄氷ふめば淋しき思ひ出の湧く 京城 草野黎花

鵙のさむけき聲を立て、鳴く冬の朝の川沿ひを行く 開城 柳原好助

幼きを思して來つる故郷の裏山蕭し落葉を聞けば 臨水 浮世庵

あかく〜と障子にうつる日の光りのなつかしきかな冬のあしたは 龍山 春香生

ひとり居のこのしづ心うつくしき緣の日向に朝の日をあぶ 京城 井尾默草

赤き頰白きショールにうづめつゝ冬の巷を急ぐ少女等 仁川 微風

朝の霜ふみつゝ岸を家鴨らのひさむれ白く鳴きて行く哉 矢野玉郎

冬の朝路上にふさも行き逢へる犬の瞳の光りたるかな

初冬やあさの河頭に水白の燕麥搗く聞き入りし旅 順川 熊谷わたる

さむこしこそよくポプラの細枝に鵯のかじかむ冬の朝かな 群山 香原夢穗

磯木たき濱の女ら潮干待つその賑やかな冬の朝あけ

○落葉 京城 岡田汀幽

靜かなる朝より落葉ちりみだる椋の梢かげに頰白鳥をきく 大邱 紫苑

落葉あはれ昔年の公達が都落ちにも似たる樣かな 龍山 米多きよ

落ちつもる木の葉のつめて焚く風呂の煙の末にみゆそめし月 奉天 原田登一

十月の冷たき風に木葉揉謎の如くに落ちて行かな 非邑 紅華

落葉する大木によりてこし方を思へば涙流れてやます 新義 趙重傑

今日も亦落葉拾ふか木枯のたゆまたゆまに歌聲ゆる 龍山 石川清次郎

ひらく〜と黄なる胡蝶の舞の手み見せて散り來る公孫樹の落葉 京城 廣池若子

メリヤス類ハ 鈴木支店 京城本町一丁目(電話一八七二番)

はらく〜と落つる木の葉のかげ目にてのころ夕日も寒き窓哉 京城 高須賀默

今日もまた落葉しきりなり雨かゝて仰げばくらき冬の日輪 京城 巴東

落葉掻く人や捨てけむ櫛一つ櫟林の道添にあり

[illegible]して小屋離ればなる山の道寂しく行哉る音頻なり 平壤 飯島靖

たゞひとり落葉踏み行くわが心冬を淋しむ悲しき心

日報歌壇

□初冬一人一首 芙美子

國なまり乳母の手紙にかゝれたる我が古里の小さき出來事

○ 我うめく吐息ばかりが何よりも強くゆるされぬ冬の夜のふけ みよし

○ 弟のペンの響のかそけくもしみ入る夜なり心さぶしも 松本輝華

あづさ

○ あつめたく庭の落葉の夕さりて焚けば流き火となりゆくも

○ 力、力、何處に行けば山ほどの力がありてわれ借つ如し 智郎

❀四の字づくし❀

▲四方拜 三大節の一、元月元旦、寅の刻(午前四時)宮中に行はるゝ元旦の御儀式

▲四方 東西南北

▲四季 春夏秋冬

▲四天 蒼天(春)昊天(夏)旻天(秋)上天(冬)

▲四大 地水火風

▲四監 白川濱林

▲四端 仁義禮智

▲四教 詩書禮樂

▲四知 天、地、我、汝

▲四勿 非禮勿視、非禮勿聽、非禮勿言、非禮勿動(論語)

▲四道 紀傳(史詩)明經(經義)明法(律式)算道(算術)

▲四書 大學、中庸、論語、孟子

▲四恩 天地、國君、父母、衆生

▲四諦 苦(生老死)集(骨肉財物)滅(寂滅)道(修行)

▲四苦 愛別離苦、怨憎會苦

▲四天王 多聞、持國、廣目、增長

▲四衆 比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷

▲四民 士農工商

▲四捨五入 四以下の端數を切捨て五以上の端數を繰上げ一とす

▲四器 規(ぶんまはし)矩(さしがね)準(みづもり)繩(すみなは)

▲四更 午前二時頃

▲四君子 蘭、菊、梅、竹

▲四友 (花)玉梅、臘梅、水仙、山茶花(文具)筆墨紙硯

▲四姓 源平藤橘

▲四夷 東夷、西戎、南蠻、北狄

▲四十八夜 淨土宗四十八ヶの念佛を修す之れ大集經の所謂七七正修念佛の明據也

▲四十九日 死後七七日間死者の靈魂が居の棟を去れりと、佛說によりて又四十九日を過ぐれば去る來目々に歸

▲四萬六千日 每年七月十日を四萬六千日と稱して觀世音に參詣する習慣〔無雅(心綴意)とあり〕文化の始め頃より此事始まると

▲四神 青(東)朱雀(南)白虎(西)玄武(北)

電話賣買 萬年社 京城明治町一丁目 電話一八四四

選外佳作 漢詩

○ 安城 朴必達

富秋百感轉無涯、一事無成歲月賒。

日出河多異景、滿城風雨未歸家。

寒侵四壁虫音咽、日落長空雁子斜。

恰好隣人來送酒、猶堪獨酌對黃花。

○ 洪城 黃圭璟

序屬清秋菊有芳、蒼關秀色雁南翔。

千林風挾刀兵氣、萬壑楓開錦繡光。

農事田家鴻大本、伊人水宛中央。

更誰能守貧山志、含哺康衢戴聖唐。

○ 沃川 宋在昊

獨上高樓對月明、孤鴻叫斷百蟲鳴。

長空一碧秋無際、萬木皆黃夜有聲。

海內親朋書信絕、天涯兄弟夢魂[illegible]。

江湖搖落故關遠、欲向何人訴此情。

○ 京城 崔聖熙

江城秋盡倚高樓、極目風光萬里眺。

紅葉經霜山意冷、碧天如水雁聲流。

殊方香菊愁還結、故國懷人夢轉幽。

傾盡醇醪歌一曲、蒼涼月色滿前洲。

○ 開城 李致勳

客中為客又逢秋、秋意偏添久客愁。

昔對寒花同作賦、忽驚歸雁獨登樓。

百年憂樂城邊兎、萬古滄桑峽下牛。

拋却風塵多少事、一樽酒熟好相酬。

◎ミツワ複方人參錠

みつわ・ふくはうにんじんちやう

人蔘を主藥とし之に沃度及臭素劑を配合せる

定價 百錠入金七拾錢 五百錠入金參圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

主效 動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心臟亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、不眠、腎臟炎、消化不良、精力減退、老衰

本劑は沃度劑の作用ある沃度加里を含有するが故に新陳代謝を促し血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、血液の吸收に排泄作用を促し以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及び前揭の心臟疾患の發作を防ぐ。又鎭靜劑として臭素加里を含有するが故に、神經系に於ける知覺並に運動裝置の興奮性を下降せしめ、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦充血を治し得べく、殊に人參の有する利尿、強壯等の諸作用に依り、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫、營養不良並に貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食氣缺如、筋肉疲勞、衰弱等の諸徵を回復し、衰老を防ぎて能く精力を增す

◎ミツワ複方人參錠適應諸症候

一、心悸の亢ぶり易い人

一、心臟部の緊められるやうな人

一、心臟部の苦しい人

一、心臟部の痛い人

一、心臟に故障のある人

一、呼吸の促つて苦しい人

一、胸部內の苦しい人

一、中風の氣の人

一、身體に痛みある人

一、中風を豫防したい人

一、手足の冷たくなつて居る人

一、水腫のある人

一、身體の倦怠い人

一、筋肉の痛んで居る人

一、皮膚の弛むで居る人

一、顏色の蒼褪めて居る人

一、頭の痛む人

一、眩暈に苦しむ人

一、時々氣を失ふ人

一、元氣良く活動したい人

一、延命長壽を願ふ人

一、以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

發賣品目錄御申越次第送呈 ミツワ石鹸本舖 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

◎ミツワ人參錠

人蔘を科學的に研究して之を錠劑とさせる

みつわにんじんちやう

定價 百錠入金五拾錢 五百錠入金貳圓 內地以外に關稅運賃を加ふ

Scientific Research Made MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は興奮、鎭靜、利尿、健胃強壯等の諸作用を具ふるものにして其綜合的效用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び此等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、記憶不能、思考力判斷力注意力減退、睡眠不安、消化不良、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、又頭痛、偏頭痛、眩暈、實扶的里其他苦痛を急性並に慢性腎臟炎、結核、脚氣、產後及び其他諸種傳染病等に因る貧血、營養不良、子宮病、胃腸病、尿異常、腦睡、浮腫等に適用すれば、筋肉の疲勞を恢復し、精神の困憊に筋肉の緊張をなさしめ、老衰の誘因を去る卓效を奏す

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭痛のする人

一、頭がよく腫るく頭が重い人

一、眼の疲れ易い人

一、逆上せて逆上し易い人

一、眠らうとしても眠れぬ人

一、恐さに怖い夢を見たりする人

一、何事にも怒り易い人

一、ちよつとした事に泣きたい人

一、精神が愉快でない人

一、何事も悲觀的に考へる人

一、物事を深く考へる事の出來ない人

一、物事の判斷の出來ない人

一、物忘れの多い人

一、神經質で氣に罹つて居る人

一、精神の衰弱に惱む人

一、產後又病後の衰弱を防ぎたい人

一、勉學にて直に疲れる人

一、勞働して疲れ易い人

一、精神の疲勞を早く治したい人

一、精力を強くしたい人

▲甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▲咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製

本邦及英米國政府專賣特許滋養強壯料

◎肝油ドロップス

みつわ

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物より成る滋養強壯料なり。

◎複方肝油ドロップス 肝油の半量を蛋白質に換へ更に有機鐵、有機燐、石灰及び規那等を含有せしむ。

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用

五歲以下	一顆一顆又は二顆
十歲以下	一回二顆乃至三顆
十五歲以下	一回三顆乃至六顆
大人	一回八顆乃至十五顆

用法 普通菓子ハ如く食すべし、又は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

定價 五十顆入金一圓 百二十顆入金一圓八十錢 複方百顆入金一圓九十錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

肝油が一般の虛弱者、瘰癧者、核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、內科、眼科、小兒科等の專門家に處方せられ、能く卓效を奏するは、醫療上の定論なり。然れども其特有の臭味甚だ不快にして消化亦困難なるが故に、其服用を嫌忌せらるるを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及可溶性含窒素物を基礎とし、更に種々の強壯劑を配合し、一顆每に精製肝油の含有量を正確にし、乳化狀にして消化吸收の最も容易なる、美味無臭の『肝油ドロップス』を創製す、從來の肝油諸製品に優り、服用に簡便なる手數、携帶の不便、變敗の迅速等の弊なく、菓子同樣容易に食用し得る事と、酷暑の候と雖も冬季と異ならず、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり

▲如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲

一、顏の色が青白くて艶無き人

一、皮膚の紋理が惡くザラく〜してゐる所謂あれ性の人

一、身體一般に貧血してゐる人

一、是こいふ病氣はなくても何となく弱くて感冒に罹り易い人

一、筋肉の目立て痩せてゐる人

一、手足が冷えて痩られぬといふやうな纖弱な人

一、色が青くて肉瘦せ、そして

一、活潑ならぬ所謂腺病的の小供

一、頸が細長く、頰が瘦せ、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人

一、筋肉を太らせ、無病壯健になりたい人

一、元氣よく活動せんとする人

一、身體一般に脂肪氣の少き人

一、顏や手先が滑つこくしたき人

一、產前產後病後の滋養を計らうとする人

一、骨の故障即ち佝僂症骨軟化症其他種々の骨病ある人

一、營養不良から來る眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人

一、腺病(瘰癧)に罹れる人

一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である。

▼如斯人は滋養料◎複方肝油ドロップスを用ふべし▲

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人

一、營養不良から來る眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人

一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒

一、發育不全の小兒

一、貧血症になつてゐる人

一、肺結核其他結核性の病に罹つてゐる人

一、神經衰弱、ヒポコンデリ[illegible]

一、[illegible]に惱まされしゐる人

一、陰萎、遺精などの生殖器神[illegible]

一、病後の衰弱を速く回復したい人

一、腸病に罹れる人

一、[illegible]

一、細[illegible]衰弱に罹れる人の滋養物として理想の良食物である。

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 人蔘葡萄酒 規那鐵葡萄酒 ミツワ椿油 御園化粧品

發賣元 丸見屋商店 登錄商標

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、發賣品、石鹸、化粧品、小間物問屋 營業部電話特浪花三〇 四四八、四四九、四五〇 振替貯金口座東京七一〇番 電信略號(〇ミヤ)

大阪株式特電

仁川期米

懸賞課題 文藝 募集規定

□募集規定 ▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に住所氏名明記の事